

令和6年度
教育委員会所管
主要な施策の成果に関する報告書

多賀城市まちづくり報告書
(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

令和7年9月

多賀城市教育委員会

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

(1) 施策別評価の概要

2 全体の動向

- (1) 将来都市像指標のうごき
- (2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)
- (3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)
- (4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)
- (5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 政策1 | みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり(安全安心) |
| 政策2 | 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり(健康福祉) |
| 政策3 | 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり(教育文化) |
| 政策4 | 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり(生活環境) |
| 政策5 | 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり(産業活気) |
| 政策6 | 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり(地域創生) |
| 政策7 | 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営(行財政経営) |

(参考)多賀城市まちづくりアンケート調査結果<令和6年度実施>

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

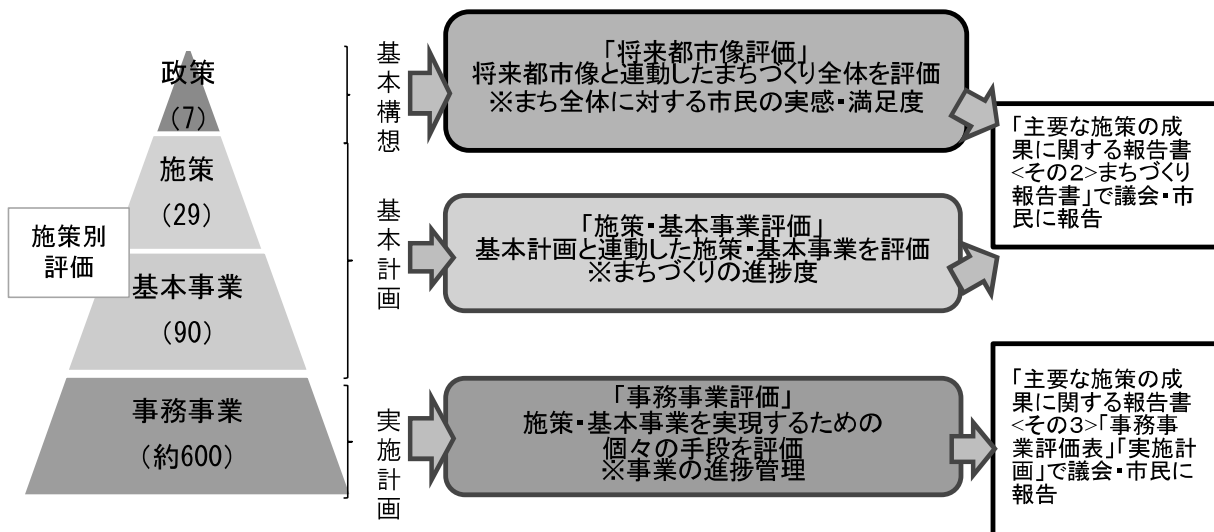
1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和6年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政経営資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



(1) 施策別評価の概要

① 施策別評価とは

施策別評価は、階層分けした施策及び基本事業について、指標の推移を踏まえた成果状況やその原因分析等の評価結果を施策ごとに示すものであり、これにより総合計画の進捗状況等を明らかにするとともに、その評価結果を次の施策や事業展開に活かしていくこととしています。

施策や基本事業に対して、その目的がどの程度達成されたのかを測るものさしとして「指標」を設定し、成果状況を数値で表すことで、総合計画の進捗状況や事業の成果状況を客観的に把握し、分析していくこととしています。

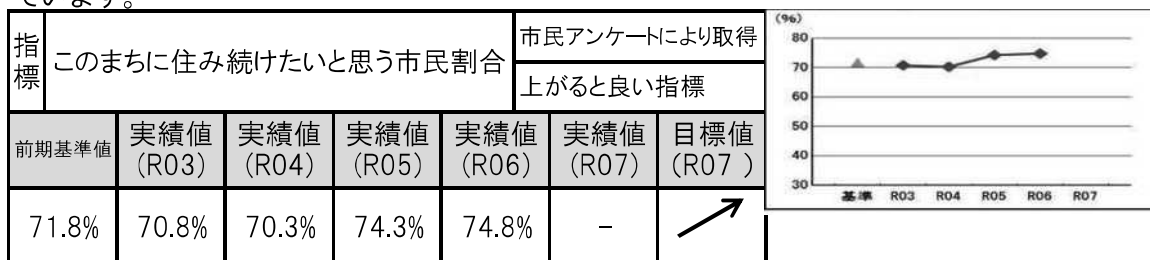
② 指標のうごきからみるまちづくりの状況

施策・基本事業の指標の動向を前期基準値に対する「指標のうごき」で捉えるとともに、指標の令和7年度前期目標値に対する「目標達成度」を捉えることとし、これらをもとに総合計画の進捗状況を示しています。

2 全体の動向

(1) 将来都市像指標のうごき

本市の将来都市像「日々のよこびふくらむまち 史都 多賀城」実現に向けたまちづくり全体の達成状況とまち全体に対する市民の実感・満足度を測るものとして、次の指標を設定しています。



(2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)

指標のうごきは、指標の前期基準値からの推移状況をもとに下表のとおりです。「晴れ(向上)」、「晴れ(横ばい)」、「曇り(横ばい)」、「雨(低下)」の4段階の区分で表しています【13ページ「指標のうごき」参照】。

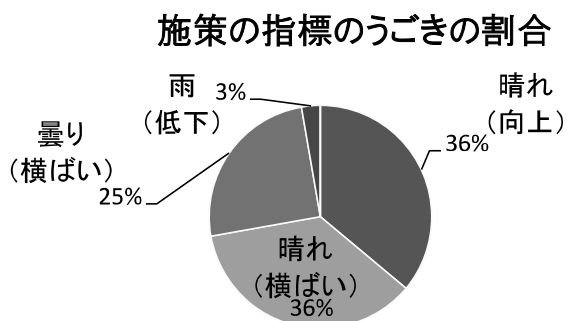
施策と基本事業の「指標のうごき」の状況は下図のとおりとなっています。

成果が向上している主な施策・基本事業の指標は、「各種がん検診を受けている市民割合」、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「地域子育て支援拠点の利用者数」、「連携している在宅医療機関、介護事業所の数」、「学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている児童の割合(小学生)」、「生涯学習施設を利用している市民割合」、「市内所在の文化財等訪問者数」、「市民1人当たり年間可燃ごみ排出量(家庭ごみ)」、「観光客の満足度」、「地域経営の仕組や体制の構築に向けた協議等の回数(累計)」、「暮らしの中に多賀城らしさを感じる市民割合」、「多くのことにチャレンジできるまちだと思う市民割合」、「まちの情報を多様な媒体から得ている市民割合」、「市民からの理解と信頼の得られる行政サービスが提供されていると思う市民割合」です。

成果が低下している主な施策・基本事業の指標は、「地域で手助けしたり、されたりする環境が整っていると思う市民割合」、「授業がわかると答える生徒割合(中学生)」、「子どもを対象とした環境教育の参加者数」です。

① 施策数、指標数及び指標のうごきの割合等

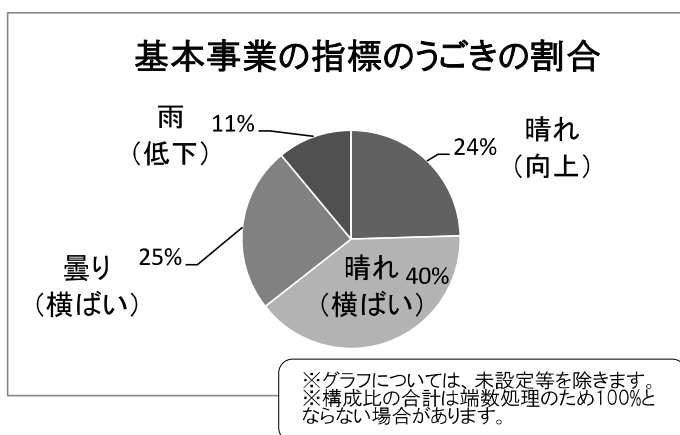
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
晴れ(向上)	13
晴れ(横ばい)	13
曇り(横ばい)	9
雨(低下)	1
未設定等	2



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

②基本事業数、指標数及び指標のうごきの割合等

基本事業数	90
指標数	141
(内訳)	
晴れ(向上)	29
晴れ(横ばい)	47
曇り(横ばい)	29
雨(低下)	13
未設定等	23



(3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の指標のうごきの状況は下図のとおりとなっています。

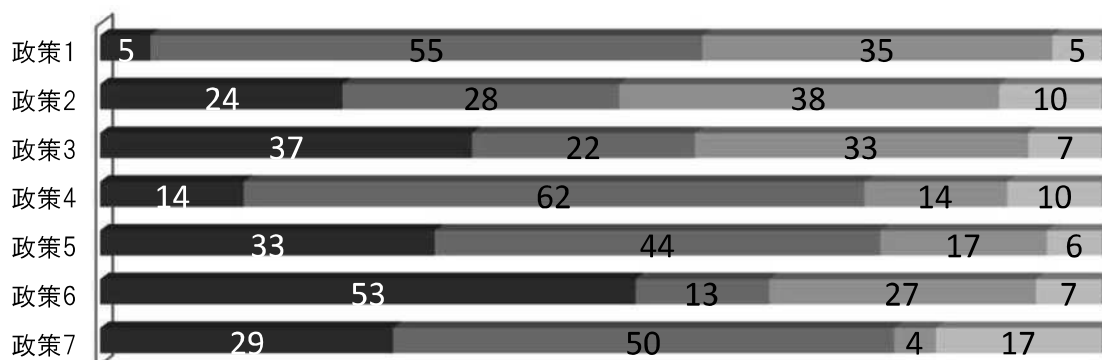
◎施策・基本事業の指標数及び指標のうごき

	晴れ(向上)	晴れ(横ばい)	曇り(横ばい)	雨(低下)	未設定等	計
政策1	1	11	7	1	0	20
政策2	7	8	11	3	13	42
政策3	10	6	9	2	2	29
政策4	3	13	3	2	5	26
政策5	6	8	3	1	0	18
政策6	8	2	4	1	0	15
政策7	7	12	1	4	5	29
計	42	60	38	14	25	179

単位:%

施策・基本事業の指標のうごきの割合(政策別)

■晴れ(向上) ■晴れ(横ばい) ■曇り(横ばい) ■雨(低下)



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%としない場合があります。

(4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)

指標の令和6年度における前期計画目標値への目標達成度を、「達成(前期目標値を達成しているもの)」、「高(令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの)」、「中(後期基本計画において、継続・事業展開が必要なもの)」、「低(令和7年度(前期目標年度)までの達成は困難であるが、やむを得ないもの)」の4段階の区分で表しています【13ページの目標達成度参照】。

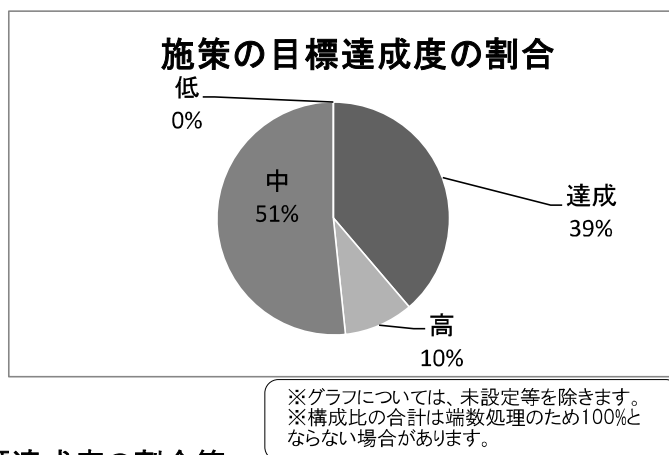
施策と基本事業の「目標達成度」の状況は、下図のとおりとなっています。

前期目標値を達成している主な施策・基本事業の指標は「各種がん検診を受けている市民割合」、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「連携している在宅医療機関、介護事業所の数」、「介護サービス事業者・施設への実地指導件数(累計)」、「学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている児童の割合(小学生)」、「生涯学習施設を利用している市民割合」、「市内所在の文化財等訪問者数」、「市民1人当たり年間可燃ごみ排出量(家庭ごみ)」、「観光客の満足度」、「新たな魅力が創出された地域資源等の個数(累計)」、「地域経営の仕組みや体制の構築に向けた協議等の回数(累計)」、「団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数」、「暮らしの中に多賀城らしさを感じる市民割合」、「多くのことにチャレンジできるまちだと思う市民割合」、「まちの情報を多様な媒体から得ている市民割合」、「市民からの理解と信頼の得られる行政サービスが提供されていると思う市民割合」です。

前期目標年度で達成することが難しいと見込まれる主な施策・基本事業の指標は、「教育・保育施設等の定員数」です。

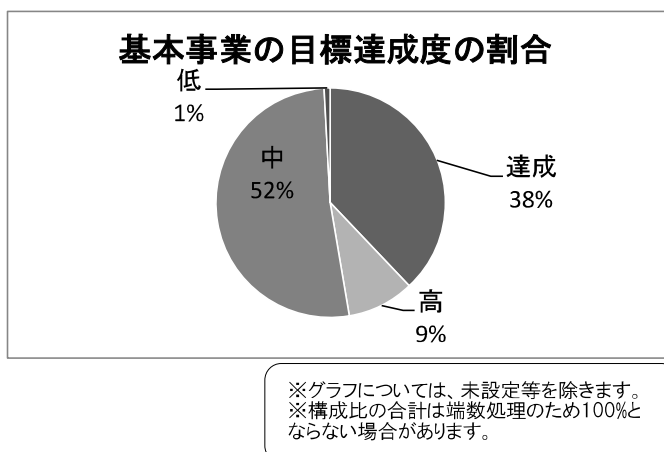
① 施策数、指標数及び目標達成度の割合等

施策数	29
指標数	38
(内訳)	
達成	12
高	3
中	16
低	0
未設定等	7



② 基本事業数、指標数及び目標達成度の割合等

基本事業数	90
指標数	141
(内訳)	
達成	44
高	11
中	60
低	1
未設定等	25



(5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

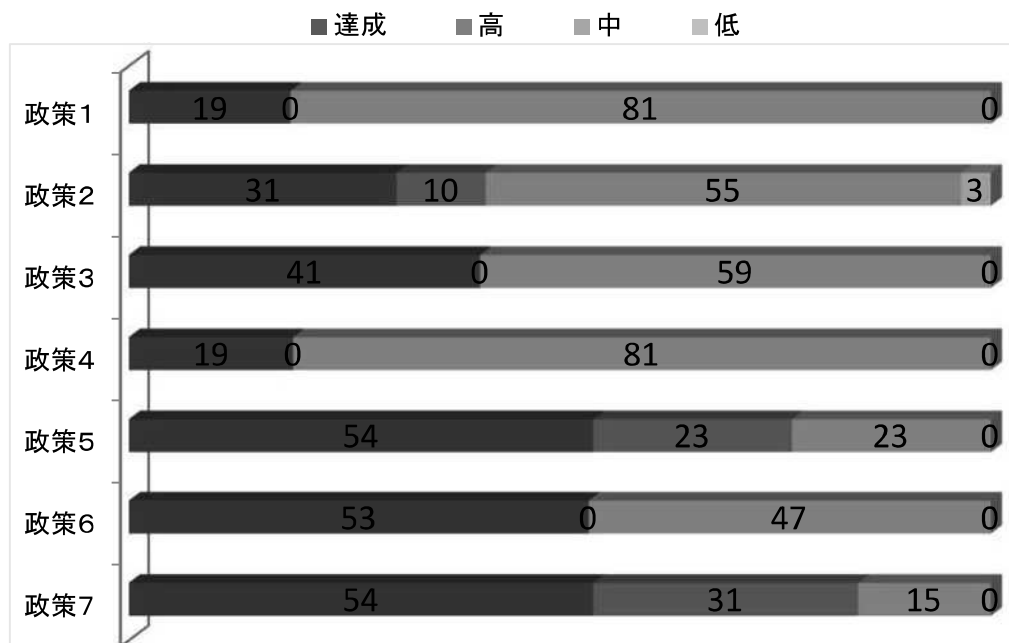
施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の目標達成度の状況は下表のとおりとなっています。

◎施策・基本事業の指標数及び目標達成度(政策別)

	達成	高	中	低	未設定等	計
政策1	3	0	13	0	4	20
政策2	9	3	16	1	13	42
政策3	11	0	16	0	2	29
政策4	4	0	17	0	5	26
政策5	7	3	3	0	5	18
政策6	8	0	7	0	0	15
政策7	14	8	4	0	3	29
全体	56	14	76	1	32	179

単位:%

施策・基本事業の目標達成度の割合(政策別)



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%とならない場合があります。

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心に暮らすことができています。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果：目指す姿の達成度を示すもの

社会：事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替：成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート：毎年定期的に市民3,000人を対象に行う多賀城市まちづくりアンケートにより取得する方法

職員アンケート：毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得：業務内で取得する方法

課独自調査：指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い：数値が上がると良い指標

下がると良い：数値下がると良い指標

その他：数値の増減で良し悪しを判断できない指標

【前期基準値】

原則として、次のような取得年度となっています。これ以外の年度に取得している場合には、評価欄に記載しています。

市民アンケート、職員アンケート指標：

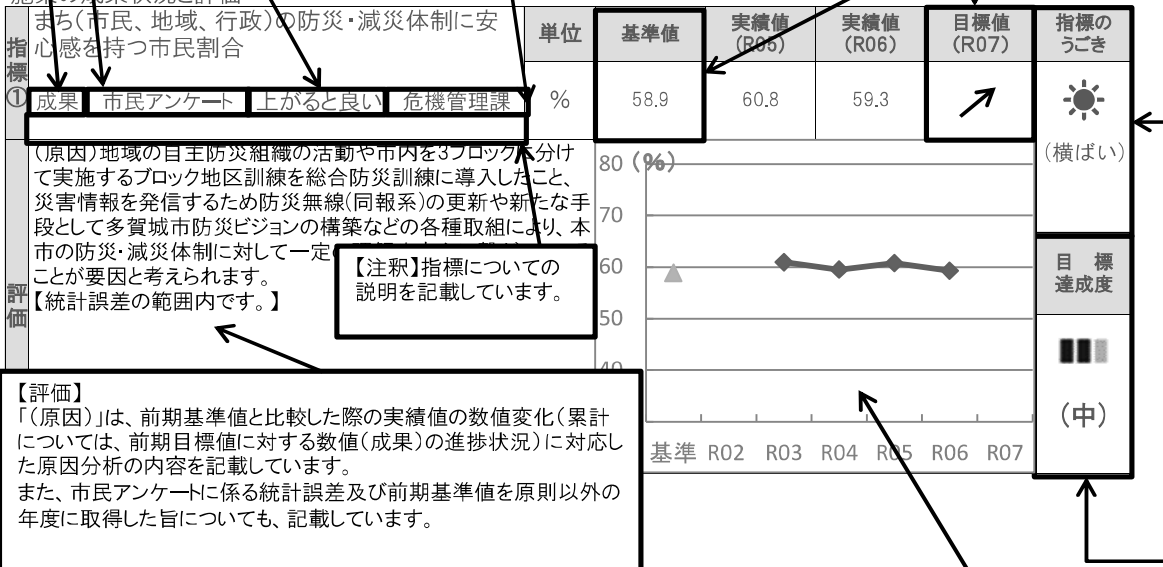
令和2年度に取得

業務取得、課独自調査指標：平成31

年度に取得

【担当部署】令和7年度担当部署を記載しています。

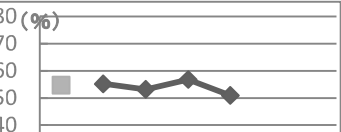
施策の成果状況と評価



【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

基本事業の成果状況は、はじまりが右側のページとなるよう調整しています。

施策評価と見方は一緒です。

基本事業01 地域防災力の促進(自助・共助)										
指標	災害への備えをしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がるとうい	危機管理課	%	54.8	56.8	50.9	➔	
①	災害への備えを4つ以上していると回答した市民割合									
評価	(原因)防災ハザードマップや総合防災訓練、広報多賀城、出前講座などを通じて、日頃の備えや東日本大震災の記憶について伝承する活動を行っています。ここ数年本市において大きな災害が発生していないなど、災害に対する備えの意識が希薄化していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(横ばい)
										目標達成度 
										(中)

【目標値】

目標値は、次の3つのパターンで表しています。

数値：業務データから現状値を把握するもの

矢印：目標値を数値で表しにくいもの(アンケートによる把握、取得方法変更等)と現状維持のもの

※アンケート指標については、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表しています。

一：指標区分が「社会」のもの及び目標設定がなじまないもの

【指標のうごき】

前期基準値(又は取得初年度)と比較した際の令和6年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。

なお、市民アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。

☀(向上)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ向上しているもの

☁(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微向上(横ばい)であるもの

☹(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微低下(横ばい)であるもの

☔(低下)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ低下しているもの

一：累計以外で前期基準値がないもの、令和6年度に実績値がないもの、指標特性が「その他」のもの、取得初年度のもの

※累計については、目標値に対する数値(成果)の進捗状況に応じて、区分しています。

【目標達成度】

成果指標の前期目標値への令和7年度(前期目標年度)を基準とした、達成度見込みを示しています。

👑(達成)：前期目標値を達成しているもの

■■■(高)：令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの

■■■(中)：後期基本計画において、継続・事業展開が必要なもの

■■■(低)：令和7年度(前期目標年度)までの達成は困難であるが、やむを得ないもの

一：前期目標値が「一」のもの、令和6年度に実績値がないもの

政策3

夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
(教育文化)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策の目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びを支える地域社会が形成されることで、子どもたちがいきいきと安全に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	38.6	34.1	37	➡	
評価	(原因) 学校・家庭・地域が連携して子どもの育ちを支える事業・地域行事などは再開されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、これらの取組の停滞が長期化した影響から、数値の向上に至っていないことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(横ばい)
										目標 達成度 ■■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標①	学校・家庭・地域が連携した取組に参加している市民割合			単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき												
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	16.4	12.6	14.4	➡												
評価	（原因）学校・家庭・地域が連携した取組は再開されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、取組の停滞が長期化した影響から、数値の向上に至っていないことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>16.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>12.6</td></tr><tr><td>R04</td><td>12.6</td></tr><tr><td>R05</td><td>12.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>14.4</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	16.4	R03	12.6	R04	12.6	R05	12.6	R06	14.4	（横ばい） 目標達成度 ■■■ （中）
									項目	値											
基準	16.4																				
R03	12.6																				
R04	12.6																				
R05	12.6																				
R06	14.4																				

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標②	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている児童の割合（小学生）			単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき												
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	77.3	78	82.7	➡												
評価	教育活動状況調査の結果				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>77.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>77.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>78</td></tr><tr><td>R05</td><td>78</td></tr><tr><td>R06</td><td>82.7</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	77.3	R03	77.3	R04	78	R05	78	R06	82.7
	項目	値 (%)																			
基準	77.3																				
R03	77.3																				
R04	78																				
R05	78																				
R06	82.7																				
(原因) 学校・家庭・地域が連携した取組が再開されたことに伴い、様々な知識や経験を学ぶことができていると実感する児童が増加したことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】					☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)																

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標③	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている生徒の割合（中学生）			単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき												
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	80.9	73.2	72.6	➡												
評価	教育活動状況調査の結果				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>80.9</td></tr><tr><td>R03</td><td>73.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>73.2</td></tr><tr><td>R05</td><td>72.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>72.6</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	80.9	R03	73.2	R04	73.2	R05	72.6	R06	72.6
	項目	値																			
基準	80.9																				
R03	73.2																				
R04	73.2																				
R05	72.6																				
R06	72.6																				
	(原因) 学校・家庭・地域が連携した取組は再開されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、取組の停滞が長期化した影響から、数値の向上に至っていないことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】				(横ばい) 目標達成度 (中)																

基本事業02 青少年の健全育成

指標①	青少年育成活動事業の延べ参加者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき															
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	839	2,905	2,972	➡																
評価	(原因) 小学校で放課後の空き教室などを活用して、子どもに体験の場を提供する放課後子ども教室や、小中学校の授業などを支援する学校支援活動が増え、参加する地域住民が増加したことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】				(人/年) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数 (人/年)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>839</td></tr><tr><td>R03</td><td>2,905</td></tr><tr><td>R04</td><td>1,600</td></tr><tr><td>R05</td><td>2,905</td></tr><tr><td>R06</td><td>2,972</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr></tbody></table>					年度	参加者数 (人/年)	基準	839	R03	2,905	R04	1,600	R05	2,905	R06	2,972	R07	-		(向上)
					年度	参加者数 (人/年)																			
基準	839																								
R03	2,905																								
R04	1,600																								
R05	2,905																								
R06	2,972																								
R07	-																								
										目標達成度															
										(達成)															

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 02 学校教育の充実

施策の目指す姿

児童・生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体が育まれることで、夢や希望が持てる充実した学校生活を送ることができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき												
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	92.3	87.3	89.3	➡													
評 価	教育活動状況調査の結果				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>92.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>87.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>87.3</td></tr><tr><td>R05</td><td>87.3</td></tr><tr><td>R06</td><td>89.3</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	92.3	R03	87.3	R04	87.3	R05	87.3	R06	89.3	☁ (横ばい)
	項目	値																				
基準	92.3																					
R03	87.3																					
R04	87.3																					
R05	87.3																					
R06	89.3																					
	(原因) 各校の工夫により、児童が前向きに学習や友達づくりに取り組んだことで、8割以上の高い水準で推移していますが、勉強が難しいと感じている児童割合が、学年が進むに従い増える傾向にあることが要因と考えられます。									目 標 達成度 ■ (中)												

指標 ②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき												
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	81	87.3	85.1	➡													
評 価	教育活動状況調査の結果				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>81</td></tr><tr><td>R03</td><td>87.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>85.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>87.3</td></tr><tr><td>R06</td><td>85.1</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	81	R03	87.3	R04	85.1	R05	87.3	R06	85.1	☀ (向上)
	項目	値																				
基準	81																					
R03	87.3																					
R04	85.1																					
R05	87.3																					
R06	85.1																					
	(原因) 各校の工夫により、自分の意見を安心して伝えられるなどの環境の中、探究的な学習活動や行事等に取り組むことができたことが要因と考えられます。									目 標 達成度 (達成)												

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の育成

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	90.3	86.9	88.5	→	
評価	教育活動状況調査の結果									(横ばい)
	(原因) 基準値を若干下回っているものの、ICT機器の活用やグループでの調べ活動、話し合いの機会を確保することで、児童同士が学び合いを行い、より主体的に学習に取り組めるように工夫していることが要因と考えられます。									目標達成度 ■■ (中)

基本事業01 確かな学力の育成

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	80.7	84.1	75.9	→	
評価	教育活動状況調査の結果									(低下)
	(原因) 学習習慣が十分に身につけておらず、指導内容と生徒の理解度に乖離がある可能性が考えられます。加えて、学習に対する理解が十分に積み上がっておらず、基礎的な内容の定着が不十分な生徒がいることが要因と考えられます。									目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 豊かな心の育成

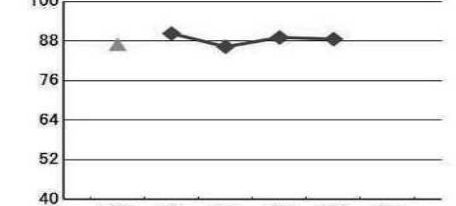
指標①	不登校出現率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	2.4	5.5	5.8	→	
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出									(低下)
	(原因) 学校生活や家庭生活に対する悩みや不安を抱え、集団活動に馴染みにくく、登校渋りとなる児童・生徒が増加しています。また、保護者の不登校に対する受け止め方の変化や、軽い風邪等の症状でも大事をとって学校を欠席させる家庭が増え、年間30日以上欠席した児童生徒が小学校低学年を中心に増加したことが要因と考えられます。									目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 豊かな心の育成

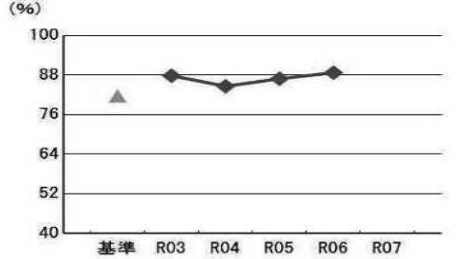
指標②	再登校率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	教育総務課	%	19.8	37.7	35.4	—	
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出									—
	(原因) 不登校児童・生徒に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談対応、学び支援教室等の別室登校による対応、心のケアハウスの運営など様々な支援を行ってきたことが要因と考えられます。 【令和3年度から指標のとり方を変更しています。】									目標達成度 —

□基本事業の成果状況と評価

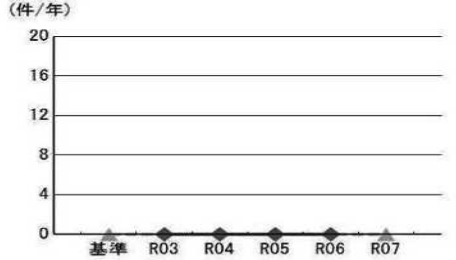
基本事業03 健やかな体の育成

指標 ①	基本的生活習慣を身に付けている児童割合（小学生）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	87.1	89.1	88.6	➡	☀ (向上) 目 標 達 成 度 🏰 (達成)															
評 価	全国学力・学習状況調査の結果				(%)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>87.1</td></tr><tr><td>R03</td><td>89.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>88.6</td></tr><tr><td>R05</td><td>88.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>88.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>88.6</td></tr></tbody></table>						項目	値 (%)	基準	87.1	R03	89.1	R04	88.6	R05	88.6	R06	88.6	R07	88.6	
	項目	値 (%)																							
基準	87.1																								
R03	89.1																								
R04	88.6																								
R05	88.6																								
R06	88.6																								
R07	88.6																								
(原因) 朝食を毎日食べている児童の割合が増えたことや睡眠習慣が改善に向かったことが要因と考えられます。																									

基本事業03 健やかな体の育成

指標②	基本的生活習慣を身に付けている生徒割合（中学生）				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	81.7	86.9	88.7	➡	
評価	全国学力・学習状況調査の結果				(%) 					
	（原因）朝食を毎日食べている生徒の割合が増えたことや睡眠習慣が改善に向かったことが要因と考えられます。									
					☀ (向上) 目標達成度  (達成)					

基本事業04 教育環境の保全と運営

指標 ①	授業及び学校生活に支障をきたした件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0	 (横ばい)
評 価	（原因）学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設整備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応を行ったことが要因です。									

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 03 生涯学習の促進

施策の目指す姿

生涯を通じて学び、活躍できる機会や場があることで、生きがいを持って社会に参加し、心豊かに暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	生涯学習を行っている市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	71.3	74.7	73.5	➡	
評価	(原因) 公民館などでの講座や教室、サークル活動のほか、インターネットなどの方法でいつでも自由に多様な学習機会が提供される環境が整ってきていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(横ばい)
										目標達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標①	学習機会に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき												
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	88.3	88.1	90	➡													
評価	（原因）公民館などでの講座や教室、サークル活動のほか、インターネットなどの方法でいつでも自由に多様な学習機会が提供される環境が整ってきていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>88.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>88.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>88.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>88.1</td></tr><tr><td>R06</td><td>90</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	88.3	R03	88.1	R04	88.1	R05	88.1	R06	90	☀ (横ばい)
										項目	値 (%)											
基準	88.3																					
R03	88.1																					
R04	88.1																					
R05	88.1																					
R06	90																					
									■ (中)													

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標②	学習成果を生かしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき												
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	66.4	67.3	66.1	➡													
評価	（原因）学習機会が多様化したことで学ぶ場が増えたことにより、学習成果を自身の仕事や就職、趣味・健康・生活に生かすことができていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>66.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>67.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>66.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>66.1</td></tr><tr><td>R06</td><td>66.1</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	66.4	R03	67.3	R04	66.1	R05	66.1	R06	66.1	☁ (横ばい)
										項目	値 (%)											
基準	66.4																					
R03	67.3																					
R04	66.1																					
R05	66.1																					
R06	66.1																					
									■ (中)													

基本事業02 文化芸術の振興

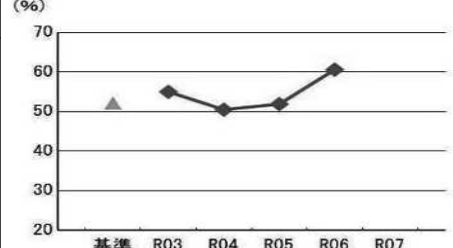
指標①	文化芸術の直接鑑賞をしている市民割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき												
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	53.3	62.8	64.7	➡													
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症が令和5年に5類感染症移行により感染状況が落ち着いたことで、文化芸術に関するイベントが多く開催されるようになったことや、映画や音楽の鑑賞、地域の祭りへの参加等、自ら動いた市民が増加したことが要因と考えられます。				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>53.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>62.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>64.7</td></tr><tr><td>R05</td><td>64.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>64.7</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	53.3	R03	62.8	R04	64.7	R05	64.7	R06	64.7	☀ (向上)
					項目	値																
基準	53.3																					
R03	62.8																					
R04	64.7																					
R05	64.7																					
R06	64.7																					
										目標達成度												
										🏰 (達成)												

基本事業02 文化芸術の振興

指標②	文化芸術活動をしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき												
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	18.6	20.5	22.6	➡													
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症が令和5年に5類感染症移行により感染状況が落ち着いたことで、市民自らが文化芸術活動を行うことができる環境が整ってきたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>18.6</td></tr><tr><td>R03</td><td>20.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>22.6</td></tr><tr><td>R05</td><td>22.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>22.6</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	18.6	R03	20.5	R04	22.6	R05	22.6	R06	22.6	
										項目	値 (%)											
基準	18.6																					
R03	20.5																					
R04	22.6																					
R05	22.6																					
R06	22.6																					
									(横ばい)													
									目標達成度													
									■■ (中)													

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 生涯学習施設の保全と運営

指標 ①	生涯学習施設を利用している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	52.2	51.9	60.6	➡	
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症が令和5年に5類感染症移行により感染状況が落ち着いたことから、文化センター等の利用者が増加したことが要因と考えられます。また、前年度と比較して増加した要因は、令和5年7月に文化センターの大規模修繕が終了したことが考えられます。									☀ (向上)
										目標 達成度 🏰 (達成)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 04 市民スポーツ社会の促進

施策の目指す姿

運動・スポーツに親しむ機会や場があり、生涯を通じて、運動・スポーツの楽しさや感動を分かち合うことで、活力をもって暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

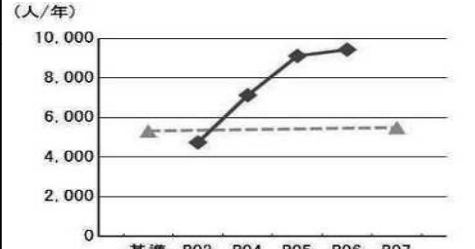
指標 ①	週1回以上運動・スポーツをしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	46.2	49.4	44.4	➡	
評価	(原因) 近年、実績値が上下しています。新型コロナウイルス感染症が令和5年に5類感染症移行によりスポーツを取り巻く環境が変化している一方で、運動・スポーツ習慣の定着化が実現できていないことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 70 60 50 40 30 20 基準 R03 R04 R05 R06 R07					(横ばい)
										目標 達成度 ■■■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ機会の確保

運動・スポーツ機会に満足している市民割合					単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき													
指標 ①	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	81.7	83.4	85	➡	☀ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■ (中)													
					(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>81.7</td></tr><tr><td>R03</td><td>83.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>83.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>85</td></tr><tr><td>R06</td><td>85</td></tr><tr><td>R07</td><td>85</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	81.7	R03	83.4	R04	83.4	R05	85	R06	85	R07
項目	値																						
基準	81.7																						
R03	83.4																						
R04	83.4																						
R05	85																						
R06	85																						
R07	85																						
評価	（原因）新型コロナウイルス感染症の影響により、ウォーキングやランニングなどの個人で運動・スポーツを行う人が増加しており、集団で行う競技スポーツを併せ、多様な運動・スポーツの機会を持つことができていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】																						

基本事業01 スポーツ機会の確保

指標 ②	スポーツ等の教室・大会の参加者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき													
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	5,330	9,117	9,438	5,500	 (向上) 目 標 達 成 度  (達成)													
評 価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、社会体育事業やスポーツ団体の活動が活発に開催されるようになり、市民が参加する機会が増えたことが要因と考えられます。				(人/年)  <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>5,330</td></tr><tr><td>R03</td><td>4,800</td></tr><tr><td>R04</td><td>7,000</td></tr><tr><td>R05</td><td>9,117</td></tr><tr><td>R06</td><td>9,438</td></tr><tr><td>R07</td><td>5,500</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	5,330	R03	4,800	R04	7,000	R05	9,117	R06	9,438	R07
項目	値																						
基準	5,330																						
R03	4,800																						
R04	7,000																						
R05	9,117																						
R06	9,438																						
R07	5,500																						

基本事業02 社会体育施設等の保全と運営

指標 ①	社会体育施設等の利用者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	296,806	249,329	250,719	350,000	(横ばい) 目 標 達成度 (中)															
評 価	市内公有社会体育施設及び学校開放施設の利用者数です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、個人で運動・スポーツを行う人が増加しており、集団で運動・スポーツを行う人を主な対象とする社会体育施設等の利用者が減少していることが要因であると考えられます。				(人/年) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>296,806</td></tr><tr><td>R03</td><td>249,329</td></tr><tr><td>R04</td><td>250,719</td></tr><tr><td>R05</td><td>250,719</td></tr><tr><td>R06</td><td>250,719</td></tr><tr><td>R07</td><td>350,000</td></tr><tr><td>目標</td><td>350,000</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	296,806	R03	249,329	R04	250,719	R05	250,719	R06	250,719	R07	350,000	目標
項目	値																								
基準	296,806																								
R03	249,329																								
R04	250,719																								
R05	250,719																								
R06	250,719																								
R07	350,000																								
目標	350,000																								

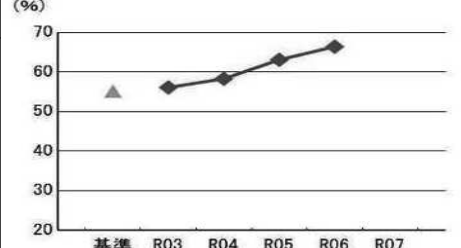
政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 05 文化財の保護と活用

施策の目指す姿

文化財が適切に保護・継承され、まちづくりに有効に活用されることで、市民が歴史と文化を身近に感じることができています。

施策の成果状況と評価

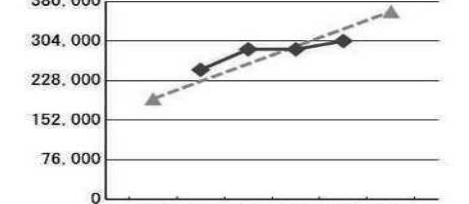
指標①	市の歴史と文化を身近に感じている市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	55.2	63.1	66.4	➡	
評価	(原因) 普及啓発活動や特別史跡多賀城跡復元整備事業の進捗に加え、多賀城創建1300年記念事業や多賀城碑の国宝指定もあり、多くのメディアから情報発信されたことが要因と考えられます。									 (向上)
										 目標 達成度  (達成)

□基本事業の成果状況と評価

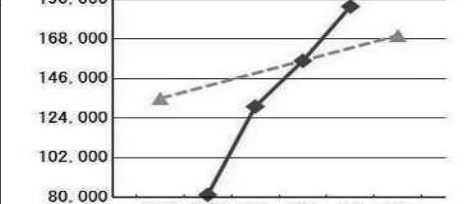
基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	適正に調査・保護された文化財の件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	代替	業務取得	その他	文化財課	件	188	180	215	—		
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数				(件)						目標達成度
	(原因) 中央公園整備関連やNTT柱の建て替え件数の増加、個人住宅新築や外構工事及び古家の解体から新築に関する案件が増えていることが主な要因です。										

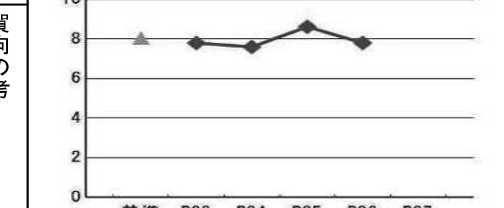
基本事業02 文化財の活用促進

指標①	活用されている文化財の面積				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m ²	193,393	288,406	304,214	360,895	 (横ばい)	
評価					(m ²)						目標達成度
	(原因) 多賀城跡及び南門地区の整備完了に伴い、史跡の活用面積が増加したことが要因です。										 (中)

基本事業02 文化財の活用促進

指標②	市内所在の文化財等訪問者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	135,009	155,893	186,102	170,000	 (向上)														
評価	(原因) 史跡を活用した多賀城創建1300年記念事業や関連イベントの開催、多賀城創建千三百年記念式典後の南門周辺の一部開放などに伴い、市内文化財等への関心及び訪問する機会が増加していることが要因と考えられます。				(人/年)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>135,009</td></tr><tr><td>R03</td><td>155,893</td></tr><tr><td>R04</td><td>186,102</td></tr><tr><td>R05</td><td>170,000</td></tr><tr><td>R06</td><td>186,102</td></tr><tr><td>R07</td><td>170,000</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	135,009	R03	155,893	R04	186,102	R05	170,000	R06	186,102	R07	170,000	目標達成度
										項目	値													
基準	135,009																							
R03	155,893																							
R04	186,102																							
R05	170,000																							
R06	186,102																							
R07	170,000																							
										 (達成)														

基本事業03 文化財の普及啓発

指標①	市内所在文化財等の平均認知項目数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	8.06	8.62	7.8	➡	 (横ばい)														
評価	(原因) 多賀城創建1300年記念事業や関連イベント、多賀城碑の国宝指定により、多賀城跡や多賀城碑の認知度は向上した一方で、その他の市内文化財については例年並みの普及活動にとどまったことが、認知度が減少した要因と考えられます。				(項目)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>認知項目数</td><td>8.06</td><td>8.62</td><td>7.8</td><td>8.62</td><td>7.8</td><td>8.62</td></tr></tbody></table>						項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	認知項目数	8.06	8.62	7.8	8.62	7.8	8.62
											項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07							
認知項目数	8.06	8.62	7.8	8.62	7.8	8.62																		
										 (中)														

(参考)
多賀城市まちづくりアンケート調査結果
〈令和6年度実施〉

①多賀城市まちづくりアンケートの令和6年度実施状況

多賀城市まちづくりアンケートは、総合計画の施策や基本事業に設定している指標の進捗状況を調査するため、毎年度実施しています。令和6年度の実施状況は、次のとおりです。

アンケート発送日	令和7年1月31日
アンケート発送数	3,000通
調査対象者数	2,986人
有効回収数	1,219人
回収率	40.8%

②市民の満足度と重要度の調査結果

今後のまちづくりにいかしていくことを目的として、各施策に対する市民ニーズ(満足度、重要度)の状況を、多賀城市まちづくりアンケートによって取得しています。ここでは、アンケートにより把握した29の施策に対する市民満足度と重要度の状況を5点満点で点数化し、前期基本計画の基準値である令和2年度と令和6年度の数値を比較します。

満足度	
・満足	5点
・どちらかといえば満足	4点
・普通	3点
・どちらかといえば不満	2点
・不満	1点

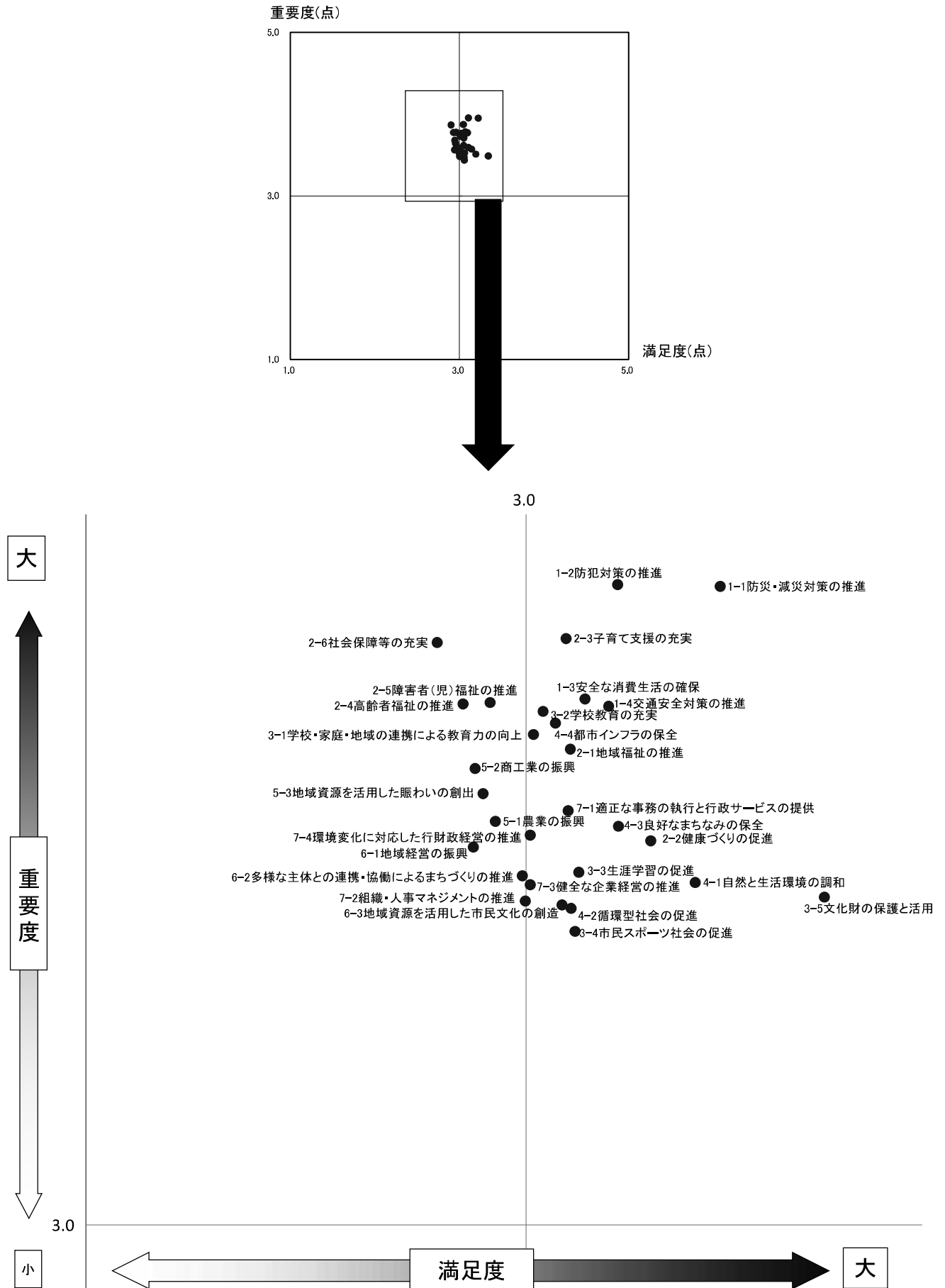
重要度	
・力を入れるべき	5点
・できれば力を入れるべき	4点
・今のままでよい	3点
・あまり力を入れなくてよい	2点
・力を入れなくてよい	1点

政策・施策分野		満足度			重要度		
		令和2年度 A	令和6年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和6年度 E	対2年度比 F(E-D)
1-1	防災・減災対策の推進	3.13	3.22	0.09	3.93	3.95	0.02
1-2	防犯対策の推進	3.04	3.10	0.06	3.88	3.95	0.07
1-3	安全な消費生活の確保	3.12	3.07	△ 0.05	3.60	3.78	0.18
1-4	交通安全対策の推進	3.02	3.09	0.07	3.76	3.77	0.01
2-1	地域福祉の推進	2.97	3.05	0.08	3.72	3.71	△ 0.01
2-2	健康づくりの推進	3.06	3.14	0.08	3.59	3.57	△ 0.02
2-3	子育て支援の充実	2.97	3.05	0.08	3.88	3.87	△ 0.01
2-4	高齢者福祉の推進	2.92	2.93	0.01	3.84	3.78	△ 0.06
2-5	障害者(児)福祉の推進	2.96	2.96	0.00	3.78	3.78	0.00
2-6	社会保障等の充実	2.89	2.90	0.01	3.81	3.87	0.06

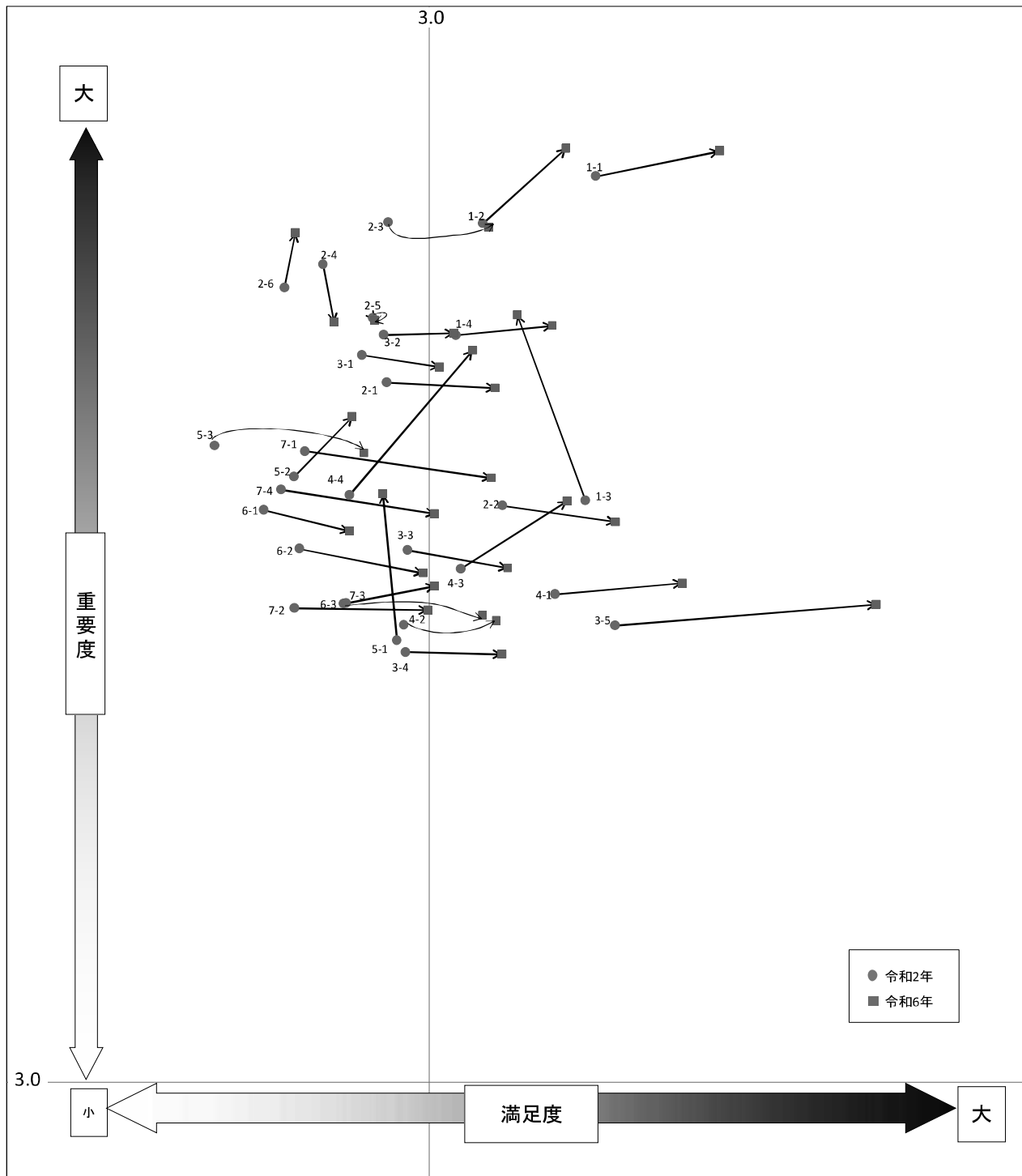
政策・施策分野		満足度			重要度		
		令和2年度 A	令和6年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和6年度 E	対2年度比 F(E-D)
3-1	学校・家庭・地域の連携による教育力の向上	2.95	3.01	0.06	3.74	3.73	△ 0.01
3-2	学校教育の充実	2.97	3.02	0.05	3.76	3.77	0.01
3-3	生涯学習の促進	2.98	3.06	0.08	3.54	3.53	△ 0.01
3-4	市民スポーツ社会の推進	2.98	3.06	0.08	3.44	3.44	0.00
3-5	文化財の保護と活用	3.14	3.34	0.20	3.47	3.49	0.02
4-1	自然と生活環境の調和	3.10	3.19	0.09	3.50	3.51	0.01
4-2	循環型社会の促進	2.98	3.05	0.07	3.47	3.47	0.00
4-3	良好なまちなみの保全	3.02	3.10	0.08	3.53	3.59	0.06
4-4	都市インフラの保全	2.94	3.03	0.09	3.60	3.75	0.15
5-1	農業の振興	2.98	2.96	△ 0.02	3.45	3.60	0.15
5-2	商工業の振興	2.90	2.94	0.04	3.62	3.68	0.06
5-3	地域資源を活用した賑わいの創出	2.84	2.95	0.11	3.65	3.64	△ 0.01
6-1	地域経営の振興	2.88	2.94	0.06	3.59	3.56	△ 0.03
6-2	多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進	2.90	3.00	0.10	3.55	3.52	△ 0.03
6-3	地域資源を活用した市民文化の創造	2.94	3.04	0.10	3.49	3.48	△ 0.01
7-1	適正な事務の執行と行政サービスの提供	2.91	3.05	0.14	3.65	3.62	△ 0.03
7-2	組織・人事マネジメントの推進	2.90	3.00	0.10	3.48	3.48	0.00
7-3	健全な企業経営の推進	2.94	3.00	0.06	3.49	3.51	0.02
7-4	環境変化に対応した行財政経営の推進	2.89	3.00	0.11	3.61	3.58	△ 0.03
	最大	3.14	3.34		3.93	3.95	
	最小	2.84	2.90		3.44	3.44	
	平均	2.97	3.04		3.63	3.65	

●満足度は上がると良い指標であり、重要度は下がると良い指標です。

まちづくりアンケート 満足度重要度結果(令和6年度)



まちづくりアンケート 満足度重要度結果 基準年(令和2年度)・令和6年度比較



政策1

- 1-1 防災・減災対策の推進
 - 1-2 防犯対策の推進
 - 1-3 安全な消費生活の確保
 - 1-4 交通安全対策の推進
- 政策2
- 2-1 地域福祉の推進
 - 2-2 健康づくりの促進
 - 2-3 子育て支援の充実
 - 2-4 高齢者福祉の推進
 - 2-5 障害者(児)福祉の推進
 - 2-6 社会保障等の充実

政策3

- 3-1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
- 3-2 学校教育の充実
- 3-3 生涯学習の促進
- 3-4 市民スポーツ社会の促進
- 3-5 文化財の保護と活用

政策4

- 4-1 自然と生活環境の調和
- 4-2 循環型社会の促進
- 4-3 良好なまちなみの保全
- 4-4 都市インフラの保全

政策5

- 5-1 農業の振興
- 5-2 商工業の振興
- 5-3 地域資源を活用した販売の創出

政策6

- 6-1 地域経営の振興
- 6-2 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進
- 6-3 地域資源を活用した市民文化の創造

政策7

- 7-1 適正な事務の執行と行政サービスの提供
- 7-2 組織・人事マネジメントの推進
- 7-3 健全な企業経営の推進
- 7-4 環境変化に対応した行財政経営の推進

(参考)統計の見方

①アンケートの配布票数及び有効票数について

統計学的には、対象となる方々の性別、年齢、職業、居住地などをバランスよく抽出しアンケート調査を行い、有効回答が概ね1,000 票となれば、そのアンケート結果は、対象となる母集団の大小に係わらず、ほぼ変わらないとされています。この有効票数1,000 票は、日本国民全体を対象とした場合でもサンプル数としては十分となることから、テレビの支持政党の電話アンケートなどの世論調査でも活用されています。

また、1,000 票程度の有効票数が得られれば、違う人を対象に、同じアンケート調査を100 回行った場合でも、そのうち95 回は、ほぼ同じ結果が得られるとされています。そのため、傾向を判断する場合には、適切な手法ということとなります。ただし、アンケート結果がほぼ同数で回答が分かれるような内容の場合は、統計誤差の関係から、傾向の判断が難しい場合があります。

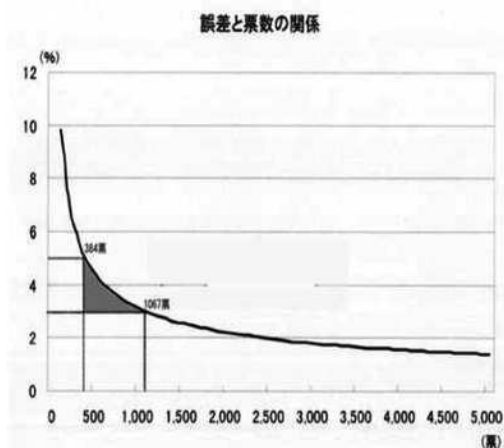
よって、今回実施した「多賀城市まちづくりアンケート」においても、概ね1,000 票の有効回答を目標に、これまで多賀城市で実施したアンケート調査結果などから回収率を約33%と想定し、配布数(対象者数)を3,000 票としました。

②アンケートの回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は少なくなります。しかしその関係は一定ではなく、下図のとおり稜線を描くような関係にあります。【下図参照】

つまり、票数が少ない時は票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差:3~5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると概ね400~1,100 票程度であることが算出されています。

よって、有効回答票の回収数がこの程度あれば、住民意向の把握として十分信頼性の高い数字になると言えます。



【上記は3%~5%の範囲を示しています。】

《参考》

サンプル数(アンケートの有効回答票数)と誤差との関係式

必要なサンプル数

$$= (\text{有意水準}^2 \times P(1-P)) \div \text{目標誤差}^2$$

有意水準: 統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数(=1.96)

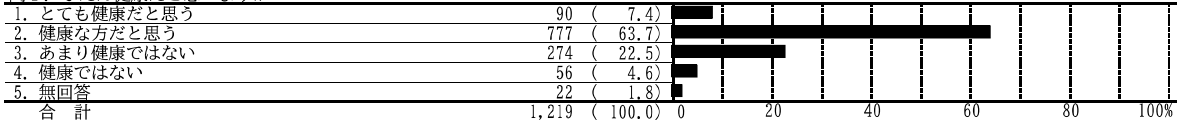
P: 誤差が一番大きくなるのは50%のときなので0.5
目標誤差: 3~5%以内であれば良いとされている。

③回収票数と誤差

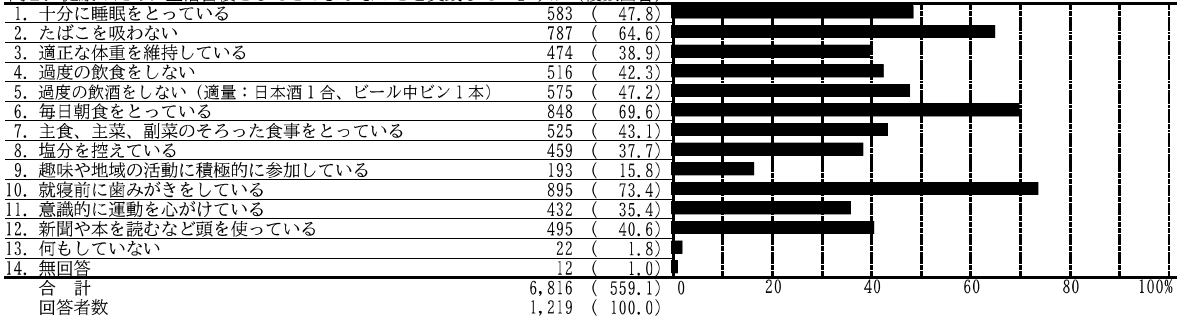
実施の結果として仮に1,000 票の回答があったとすると、上記の式に入れて逆算すると、誤差は3.1%となります。これは、例えば違う人を対象にして、今回と同じ調査を複数回実施しても、結果の%の値が±3.1ポイント以内でしか変わらないということです。

このことから、まちづくり報告書においては、異なる年度との比較を行う際には、5.0ポイントまでの差については、統計誤差として処理することとしています。

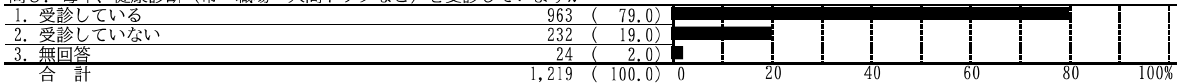
問1. ふだん健康だと思いますか



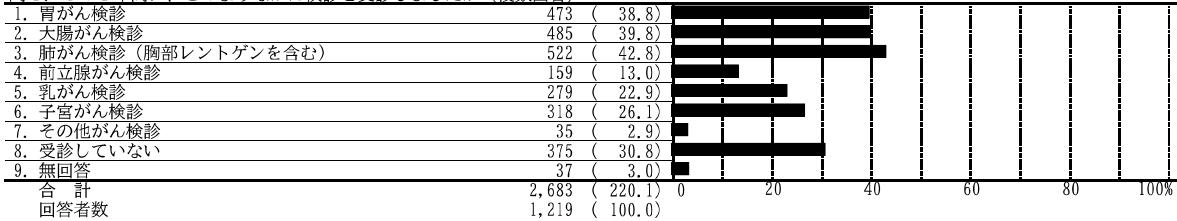
問2. 健康のために生活習慣としてどのようなことを実践していますか (複数回答)



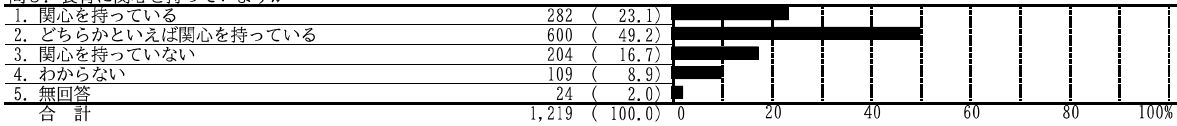
問3. 毎年、健康診断 (市・職場・人間ドックなど) を受診していますか



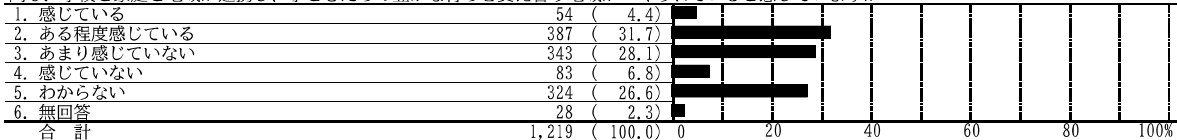
問4. この1年間に、どのようながん検診を受診しましたか (複数回答)



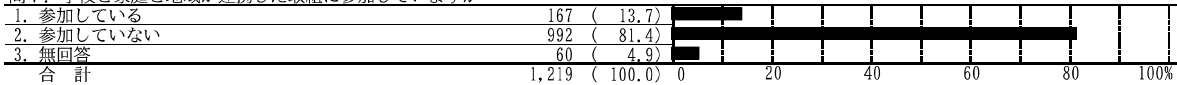
問5. 食育に関心を持っていますか



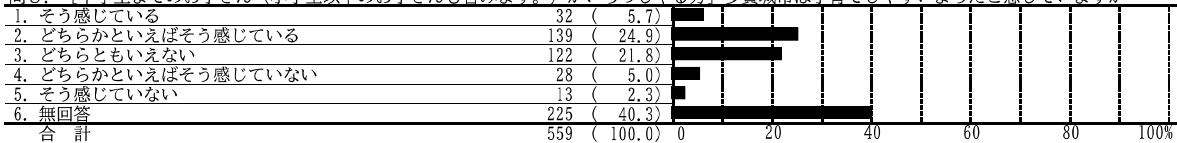
問6. 学校と家庭と地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると感じていますか



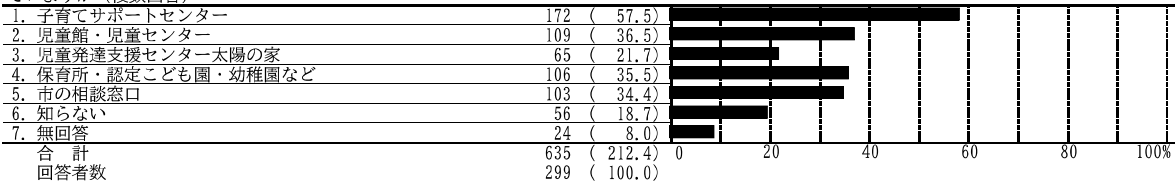
問7. 学校と家庭と地域が連携した取組に参加していますか



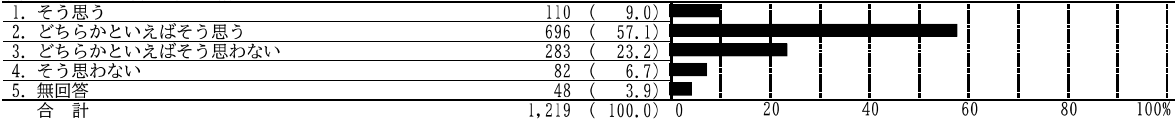
問8. 「中学生までのお子さん (小学生以下のお子さんも含みます。) がいらっしゃる方」多賀城市は子育てしやすいまちだと感じていますか



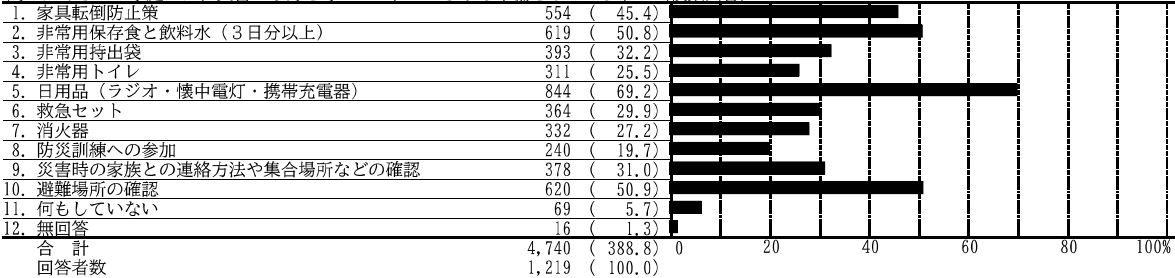
問9. 「小学生までのお子さんがいらっしゃる方」妊娠や出産、子どもの成長や発達など子育てに関する様々な悩みに対応する市の相談窓口を知っていますか（複数回答）



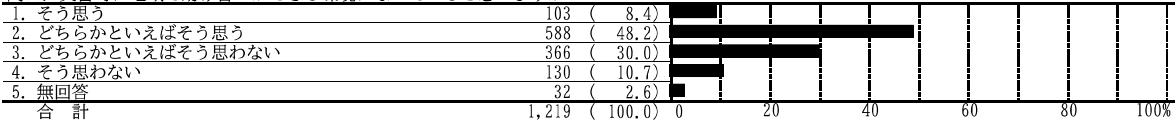
問10. 行政の災害に対する備えが整っていると思いますか



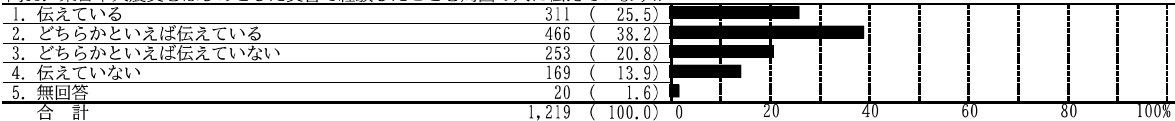
問11. あなたの家庭では、災害から身を守るため、どのような準備をしていますか（複数回答）



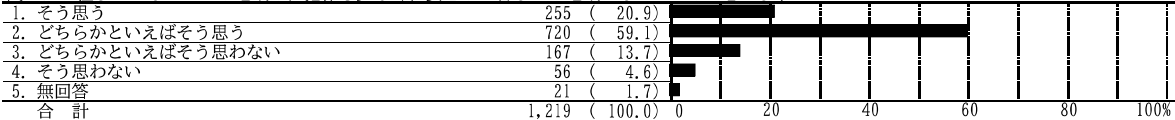
問12. 災害時に地域で助け合いができる環境になっていると思いますか



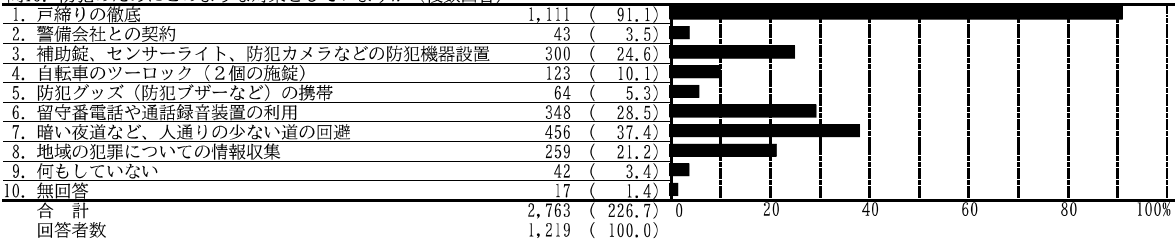
問13. 東日本大震災をはじめとした災害で経験したことを周囲の人に伝えていますか



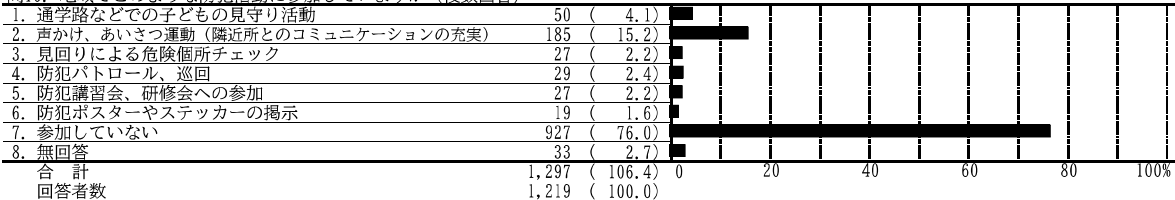
問14. お住まいになっている地域は、犯罪も少なく、安心して暮らせる地域になっていると思いますか



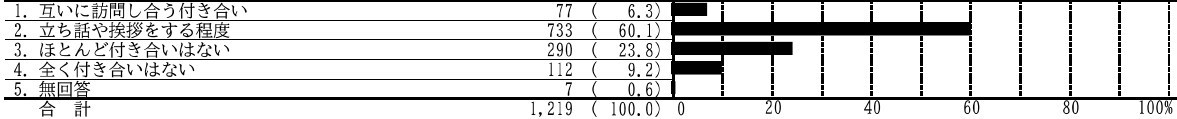
問15. 防犯のためにどのような対策をしていますか（複数回答）



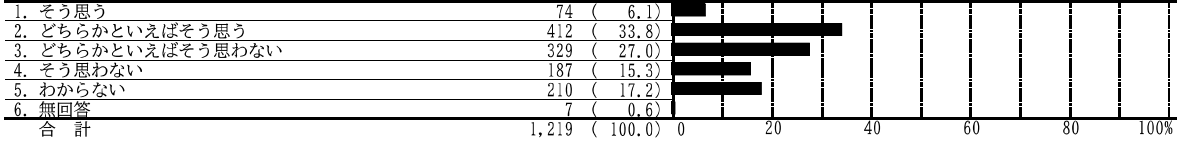
問16. 地域でどのような防犯活動に参加していますか（複数回答）



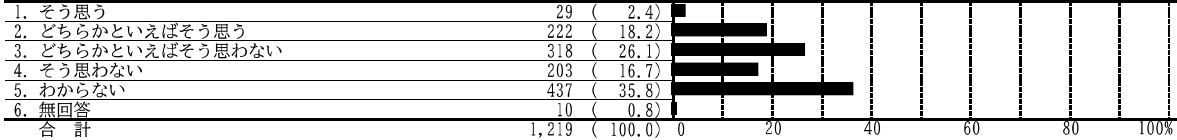
問17. どのような近所づきあいをしていますか



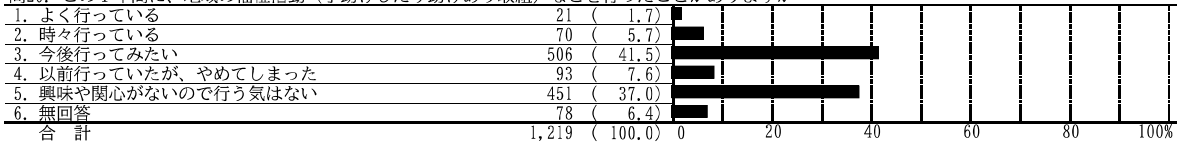
問18. 地域において、互いに助けあい支えあいができていると思いますか



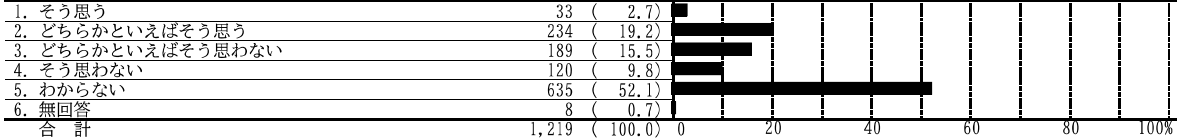
問19. 地域において、要配慮者（障害者や高齢者、75歳以上の一人暮らしの方など）を助け合う仕組みが整っていると思いますか



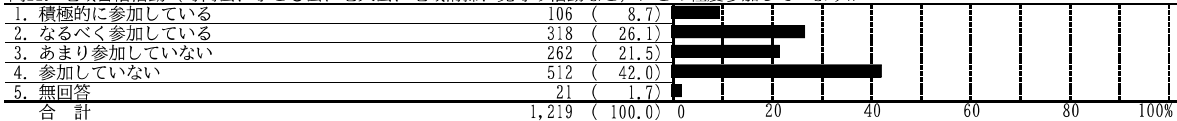
問20. この1年間に、地域の福祉活動（手助けしたり助けあう取組）などを行ったことがありますか



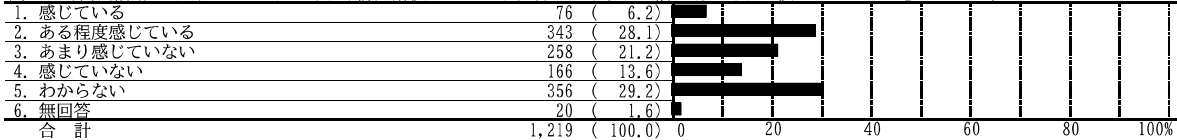
問21. 障害のある方が、多賀城市で障害の特性や能力に応じ、安心して暮らしていると思いますか



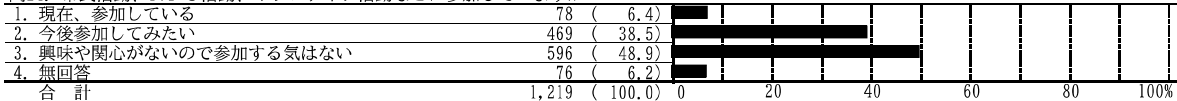
問22. 地域自治活動（町内会、子ども会、老人会、地域清掃、見守り活動など）にどの程度参加していますか



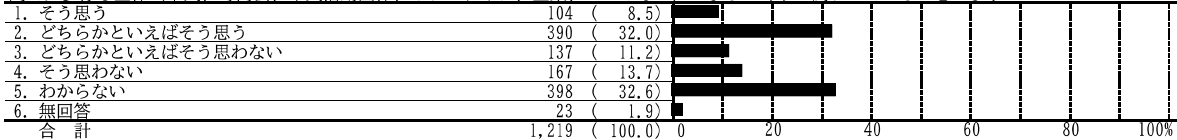
問23. 町内会活動が地域のつながりづくりや課題解決につながり、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じていますか



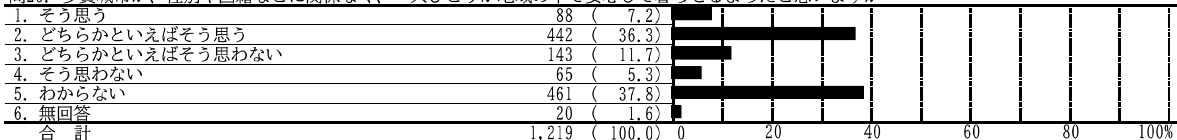
問24. 市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに参加していますか



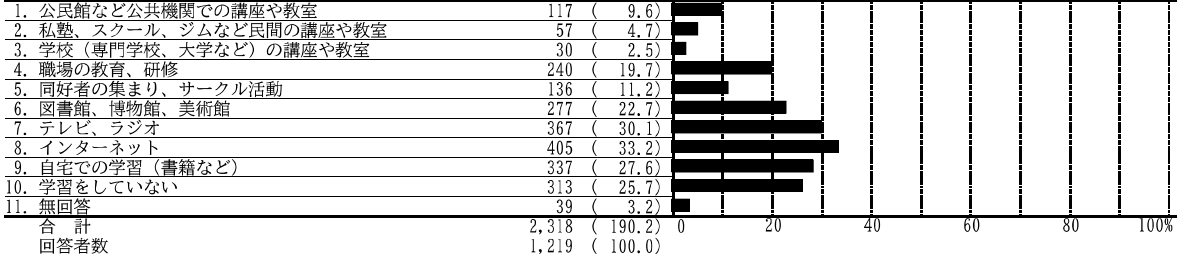
問25. 多様な主体（市民、町内会、市民活動団体、ボランティア、企業、NPOなど）がまちづくりに関わっていると思いますか



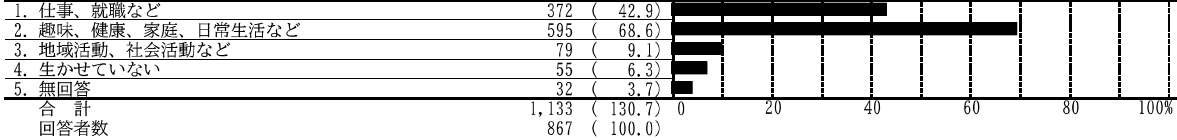
問26. 多賀城市が、性別や国籍などに関係なく、一人ひとりが地域の中で安心して暮らせるまちだと思いますか



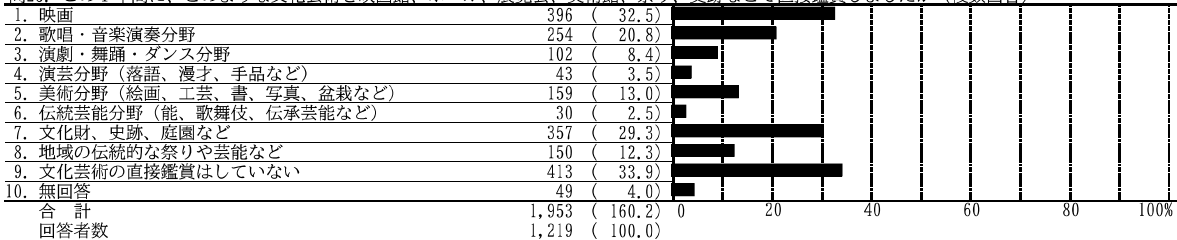
問27. この1年間に、どのような場所や方法で学習をしたことがありますか（複数回答）



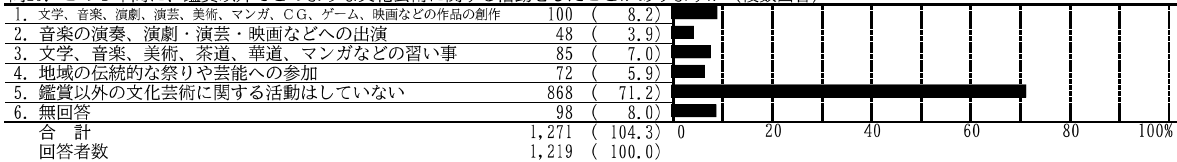
問27-2. [問27で1～9に○をつけた方] 学習した成果をどのように生かしていますか、又は生かせると思いますか（複数回答）



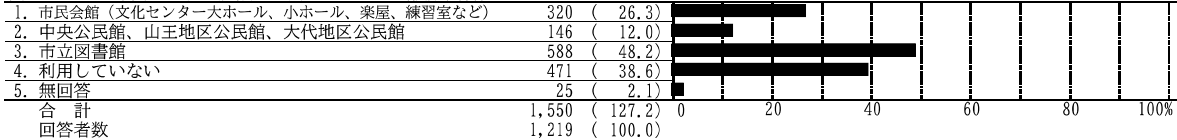
問28. この1年間に、どのような文化芸術を映画館、ホール、展覧会、美術館、祭り、史跡などで直接鑑賞しましたか（複数回答）



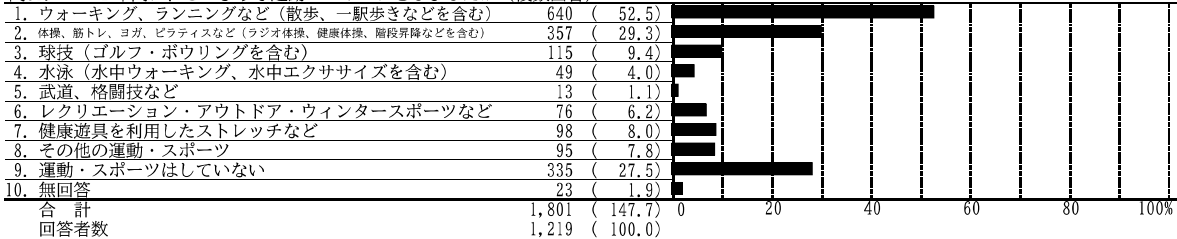
問29. この1年間に、鑑賞以外でどのような文化芸術に関する活動をしたことがありますか（複数回答）



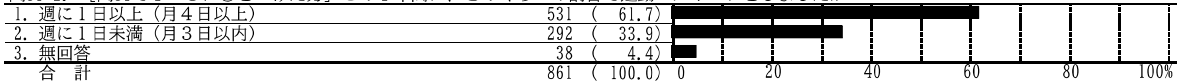
問30. この1年間に、次の施設を利用しましたか（複数回答）



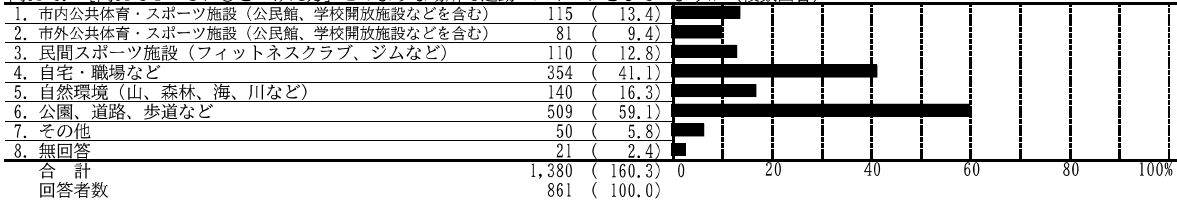
問31. この1年間に、どのような運動・スポーツをしましたか（複数回答）



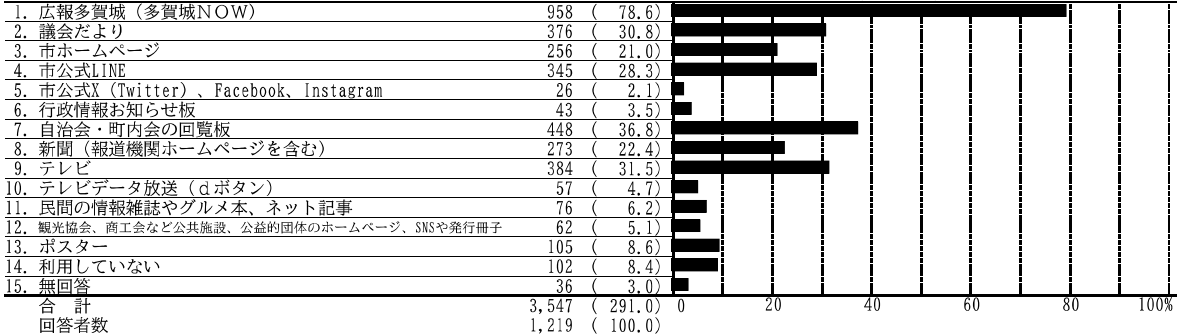
問31-2. [問31で1～8に○をつけた方] この1年間に、どのくらいの割合で運動・スポーツをしましたか



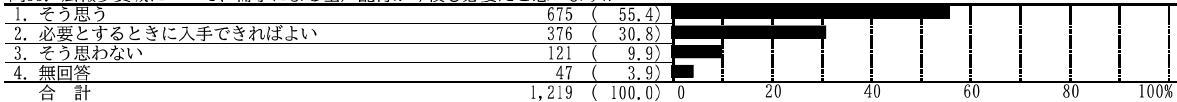
問31-3. 「問31で1～8に○をつけた方」どのような場所で運動・スポーツをしていますか（複数回答）



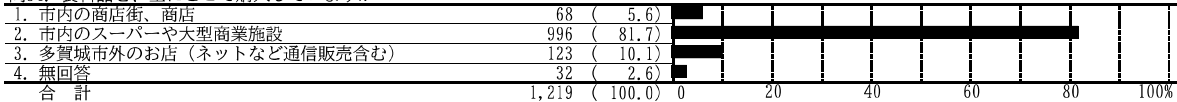
問32. この1年間に、市政情報を含めたまちの情報を得るため、どの情報媒体を利用したことがありますか（複数回答）



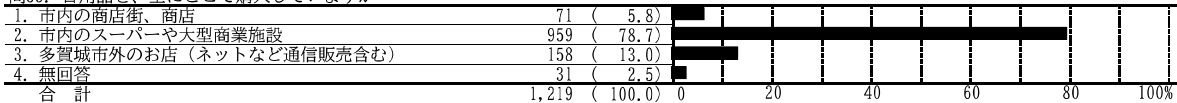
問33. 広報多賀城について、冊子による全戸配付が今後も必要だと思いますか



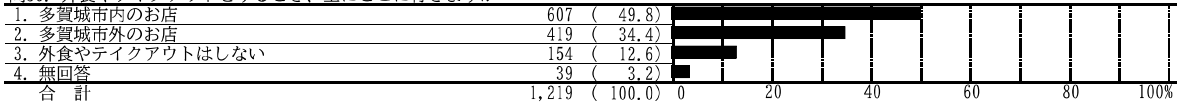
問34. 食料品を、主にどこで購入していますか



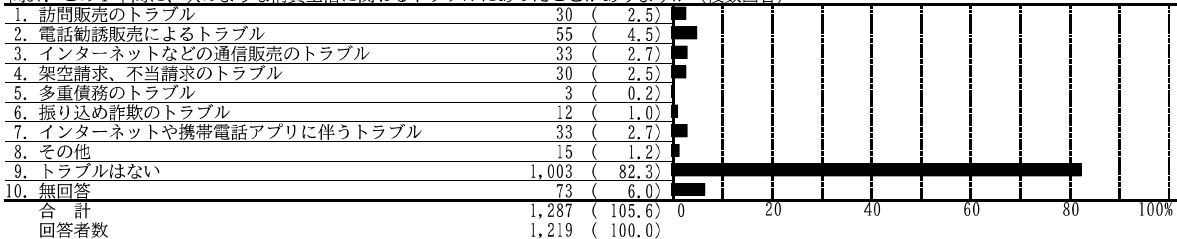
問35. 日用品を、主にどこで購入していますか



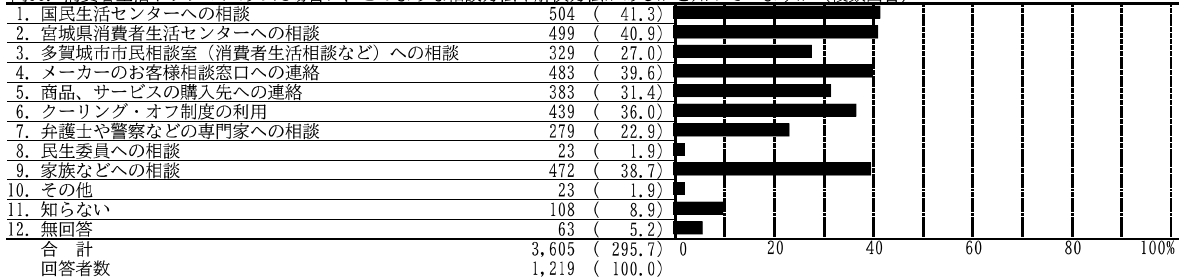
問36. 外食やテイクアウトをするとき、主にどこに行きますか



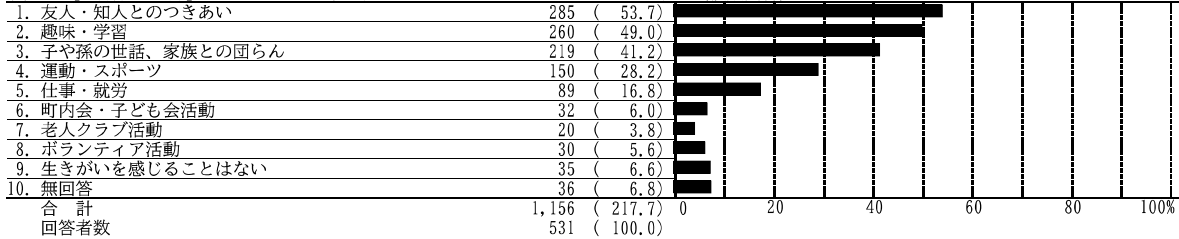
問37. この1年間に、次のような消費生活に関わるトラブルにあったことがありますか（複数回答）



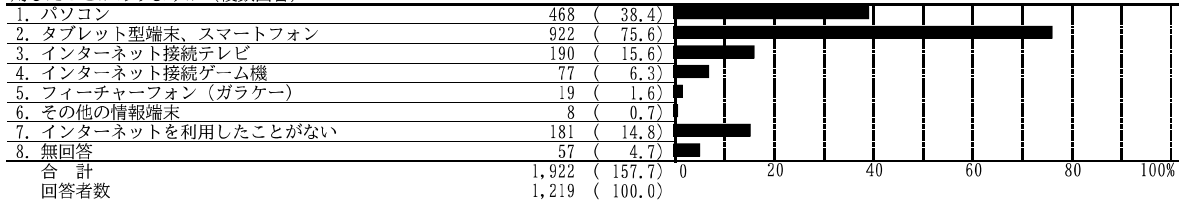
問38. 消費者生活トラブルにあった場合に、どのような相談方法や解決方法があるかを知っていますか（複数回答）



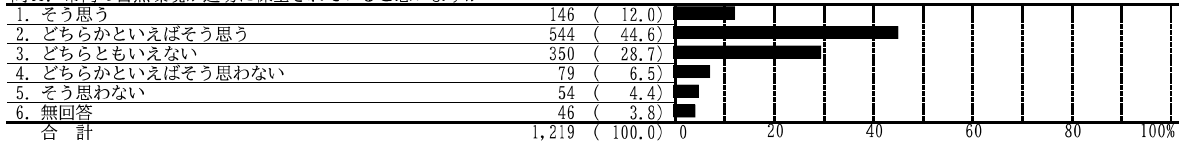
問39. 「65歳以上の方」日々の暮らしの中で、どのようなことに生きがいを感じますか（複数回答）



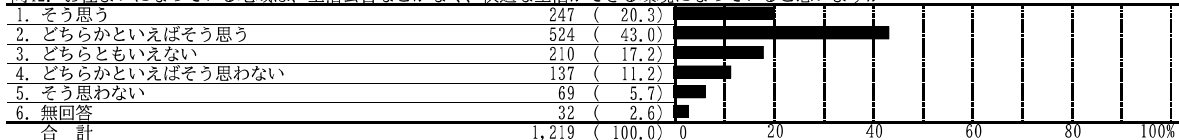
問40. この1年間に、インターネットの利用（電子メールの送受信、ホームページの閲覧、LINEなどSNSの利用など）に当たって、どの情報媒体を利用したことがありますか（複数回答）



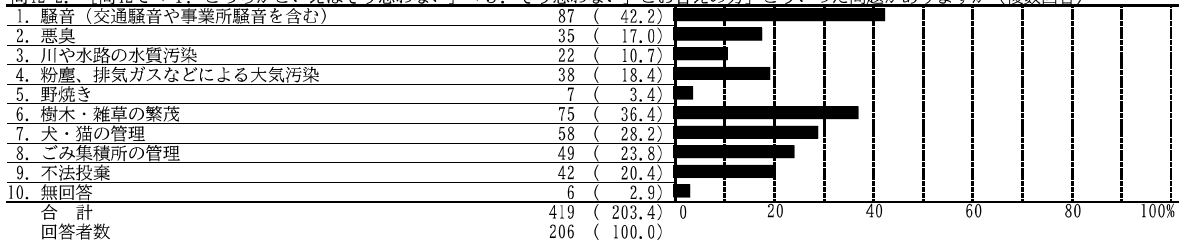
問41. 市内の自然環境が適切に保全されていると思いますか



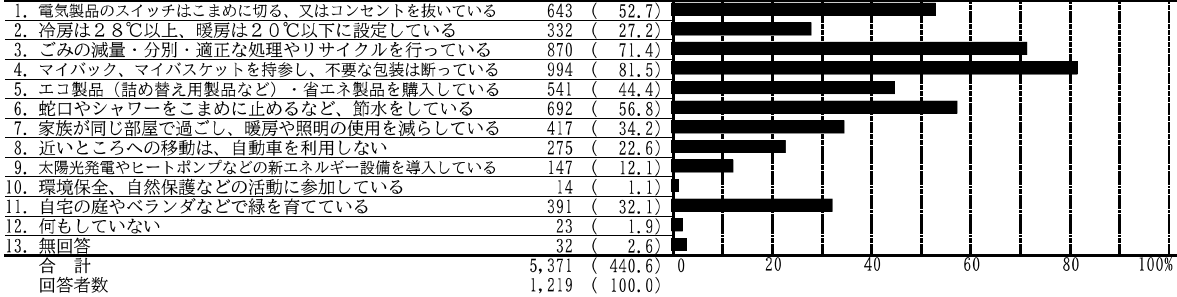
問42. お住まいになっている地域は、生活公害などがなく、快適な生活ができる環境になっていると思いますか



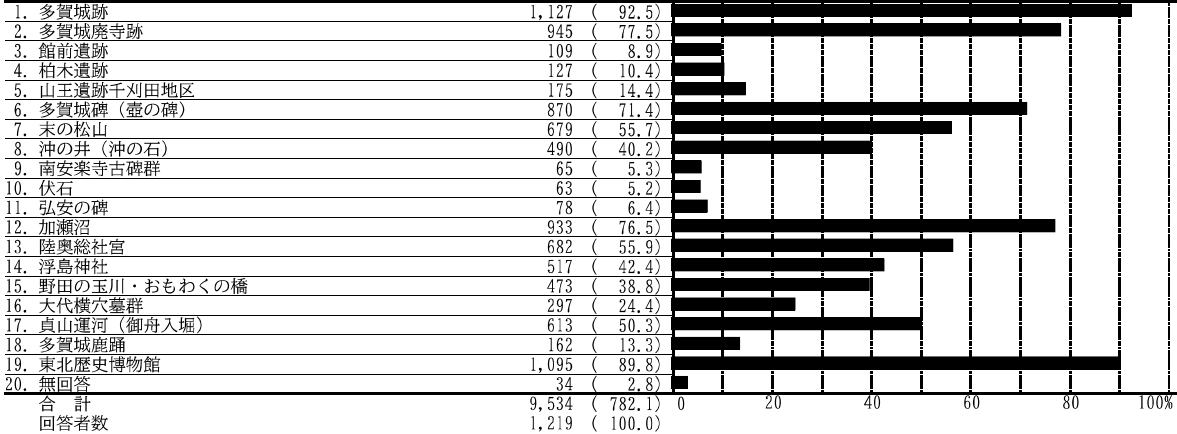
問42-2. 「問42で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. そう思わない」とお答えの方」どういった問題がありますか（複数回答）



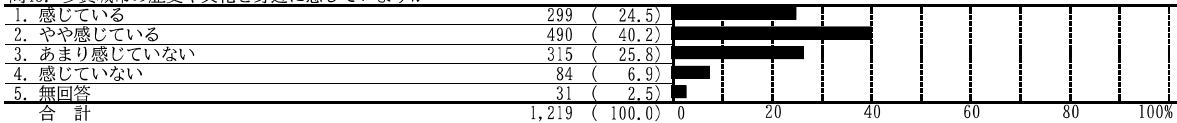
問43. 地球環境のために、どのような取り組みを積極的に行っていますか（複数回答）



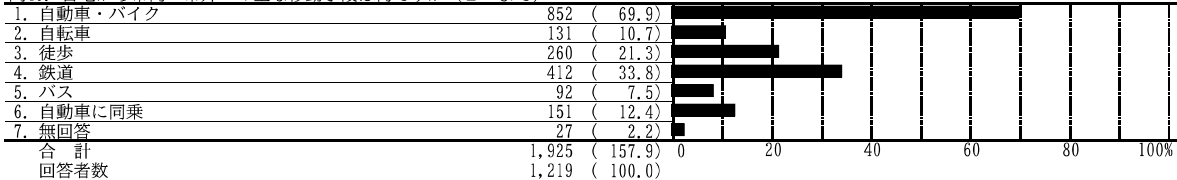
問44. 次の文化財等を知っていますか（複数回答）



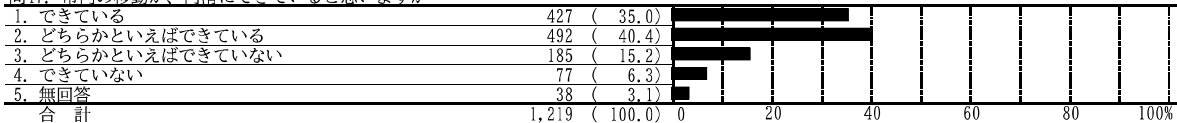
問45. 多賀城市の歴史や文化を身近に感じていますか



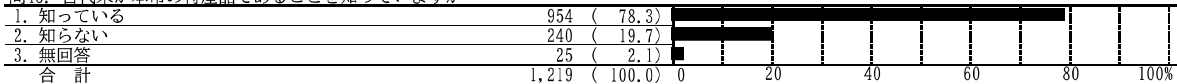
問46. 自宅から市内・市外への主な移動手段は何ですか（2つまで）



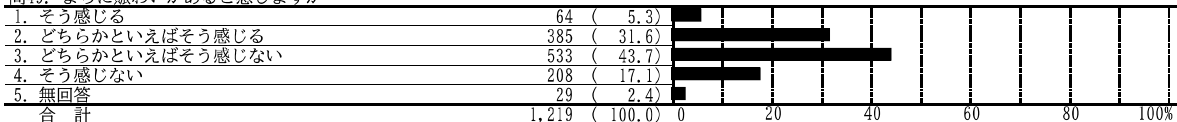
問47. 市内の移動が、円滑にできていると思いますか



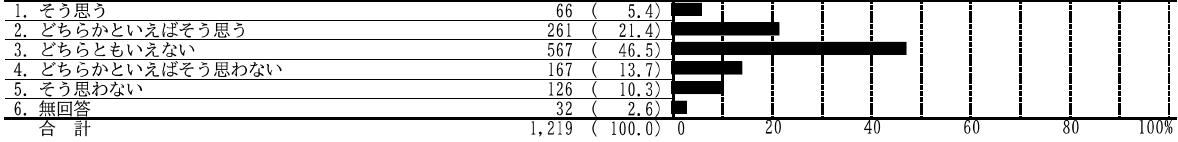
問48. 古代米が本市の特産品であることを知っていますか



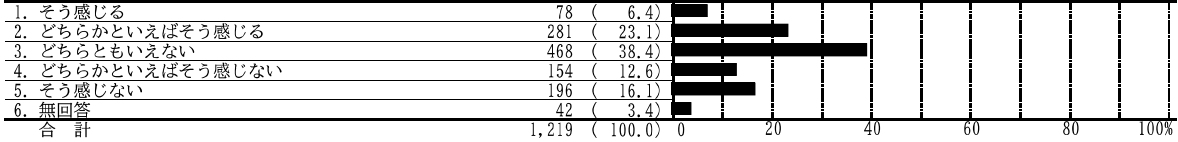
問49. まちに賑わいがあると感じますか



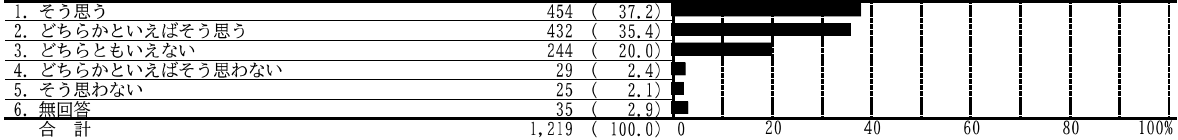
問50. 多くのことにチャレンジできるまちだと思いますか



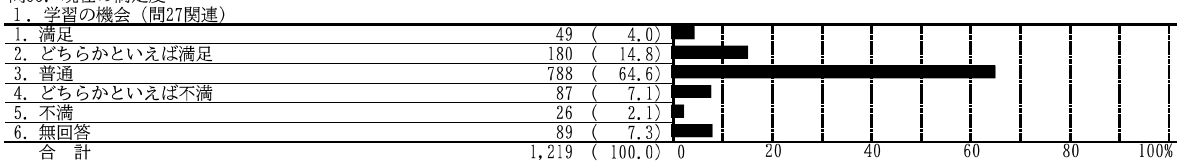
問51. 暮らしの中で多賀城らしさを感じることがありますか



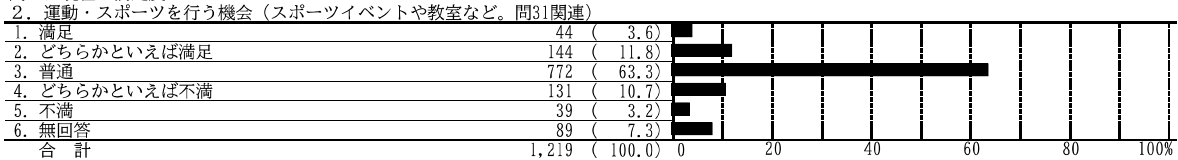
問52. このまちに住み続けたいと思いますか



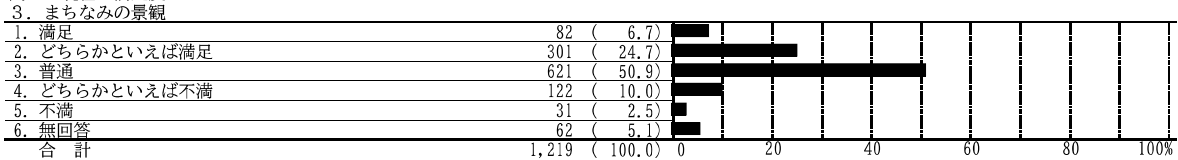
問53. 現在の満足度



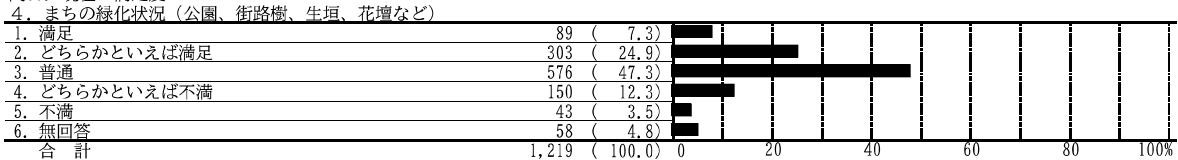
問53. 現在の満足度



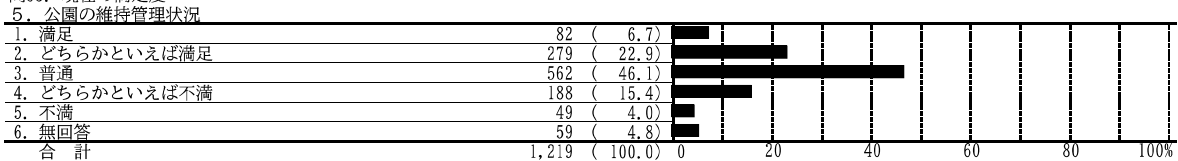
問53. 現在の満足度



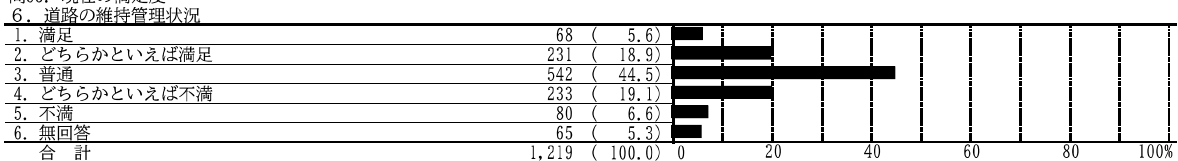
問53. 現在の満足度



問53. 現在の満足度

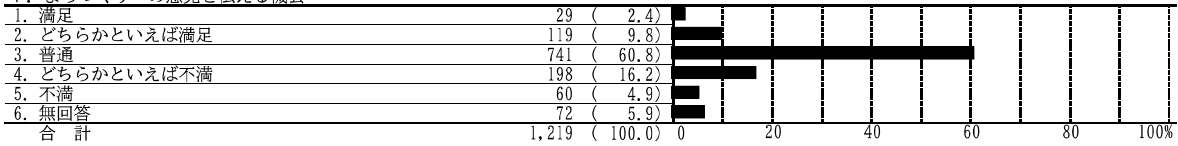


問53. 現在の満足度



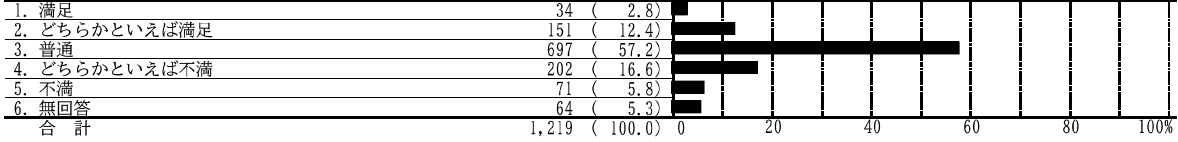
問53. 現在の満足度

7. まちづくりへの意見を伝える機会



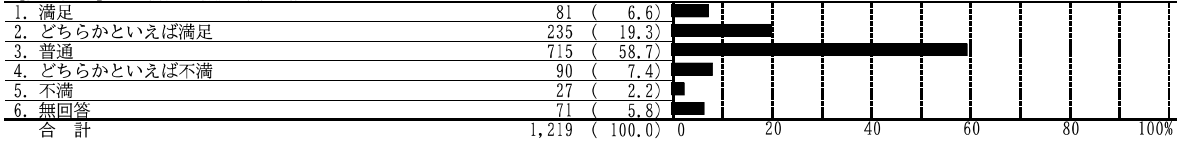
問53. 現在の満足度

8. 市民の理解と信頼に応える行政経営



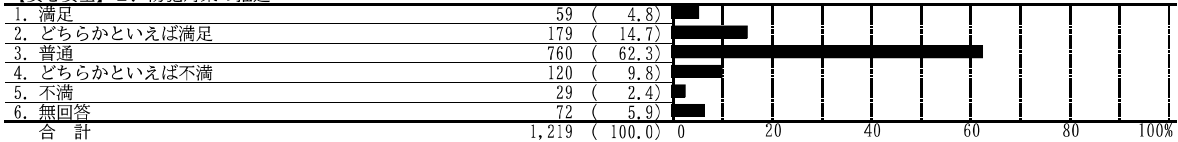
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



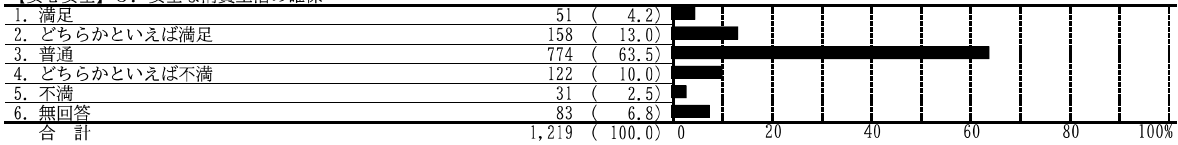
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



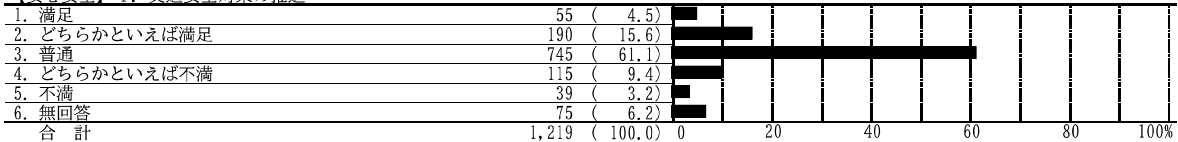
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



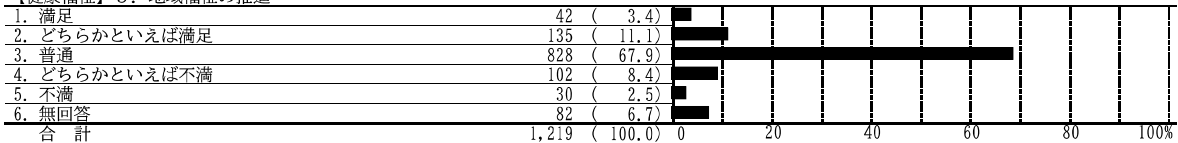
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



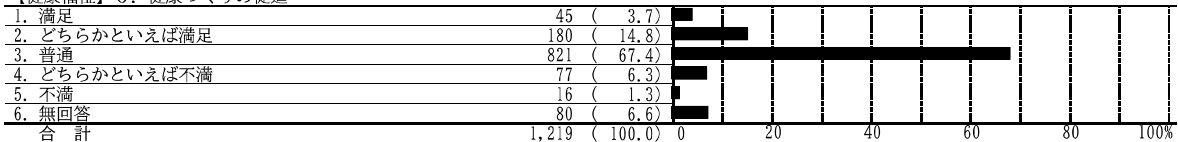
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】5. 地域福祉の推進



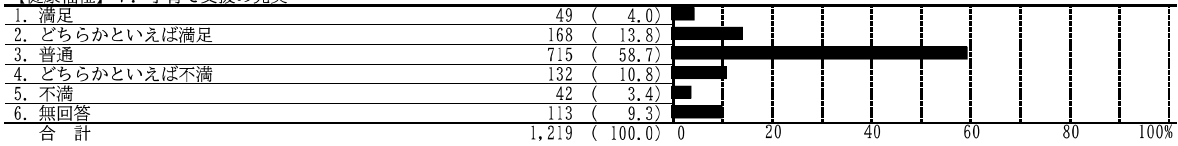
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進



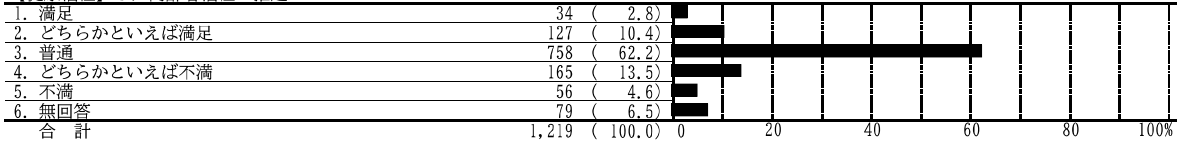
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



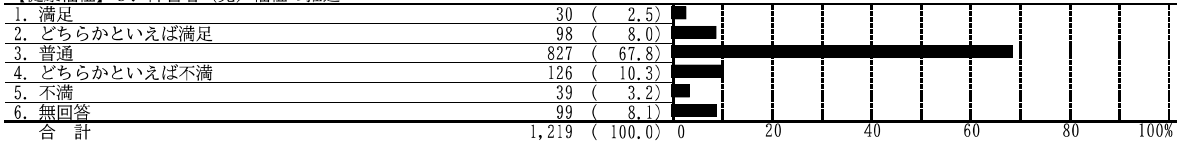
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



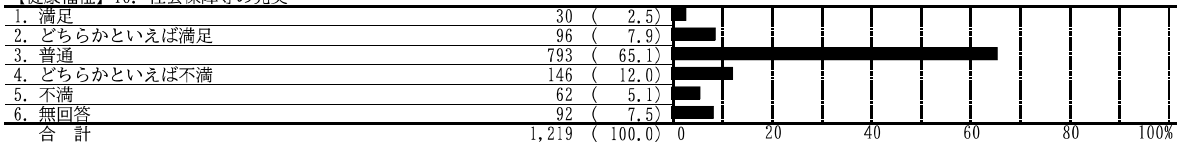
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】9. 障害者（児）福祉の推進



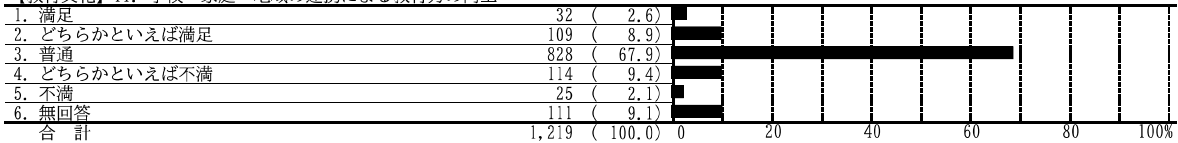
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】10. 社会保障等の充実



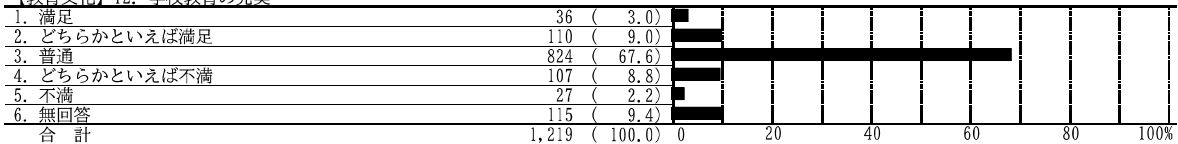
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



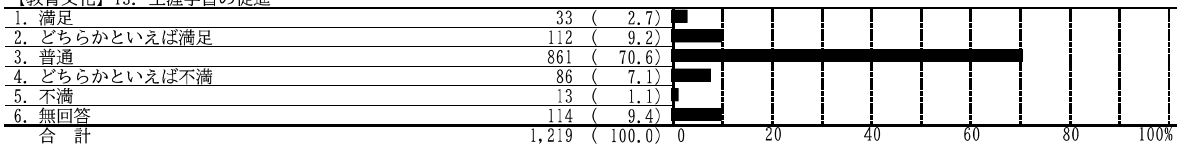
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



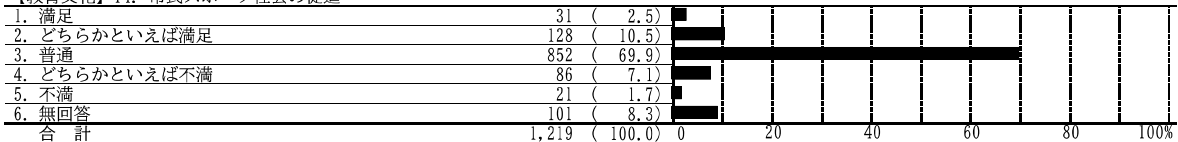
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



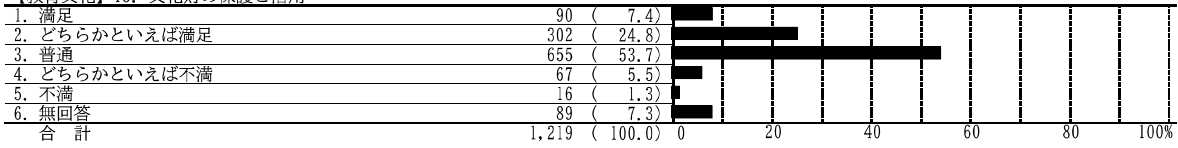
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



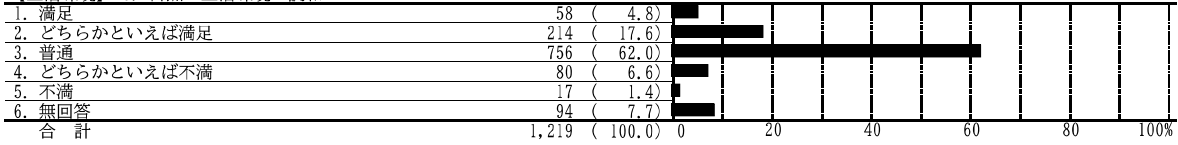
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



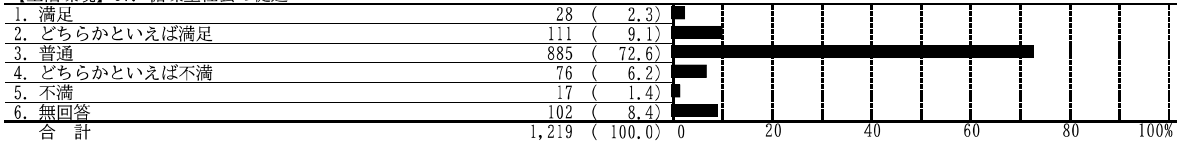
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



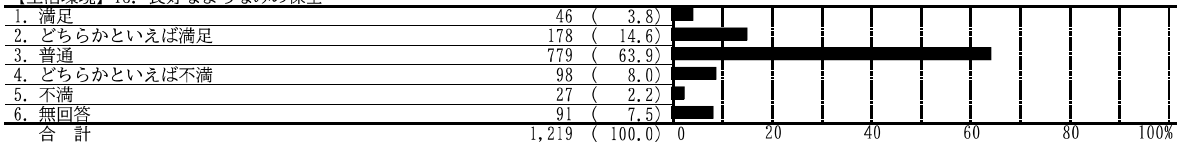
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



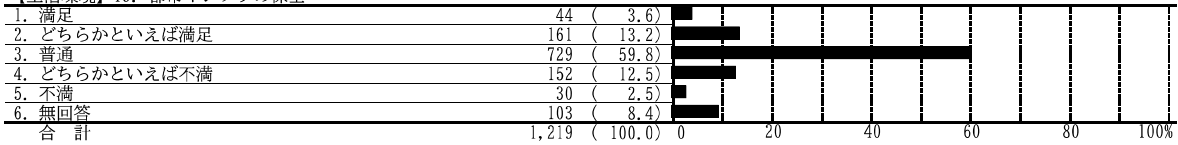
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



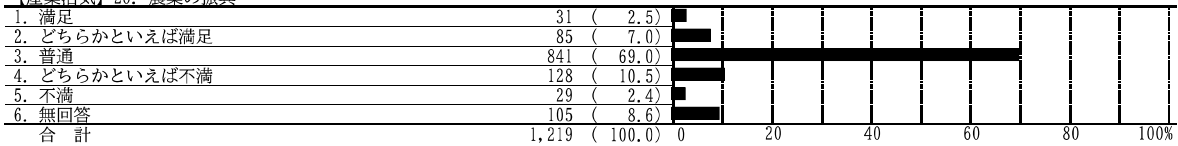
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



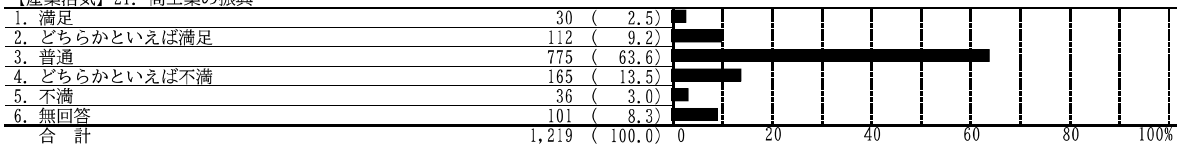
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】20. 農業の振興



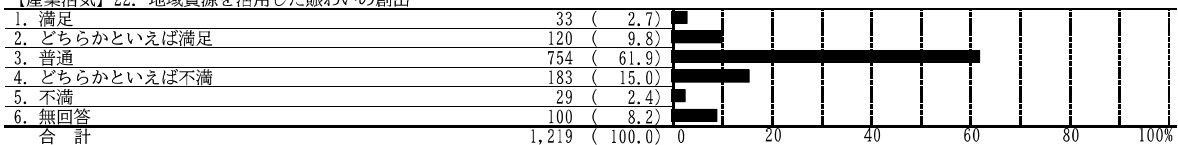
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】21. 商工業の振興



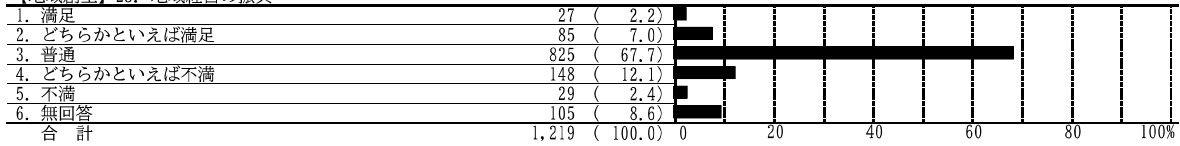
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



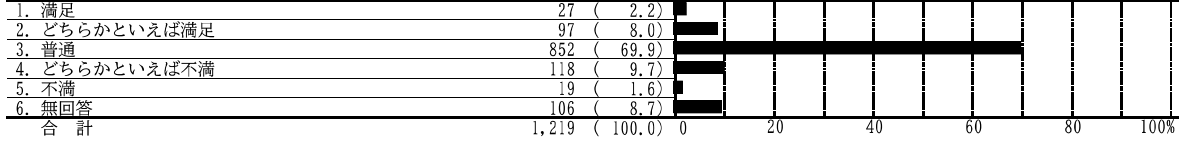
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



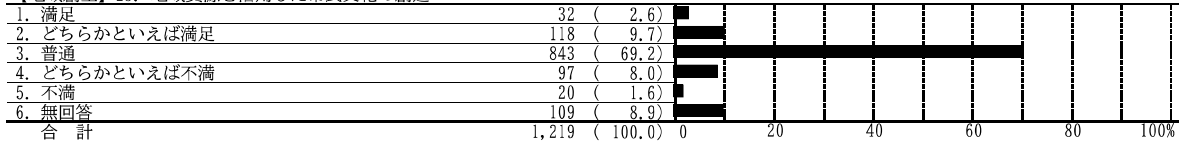
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



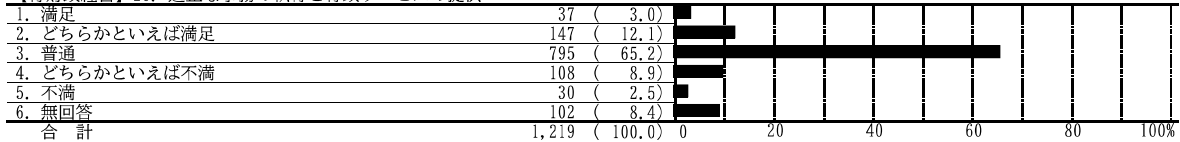
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



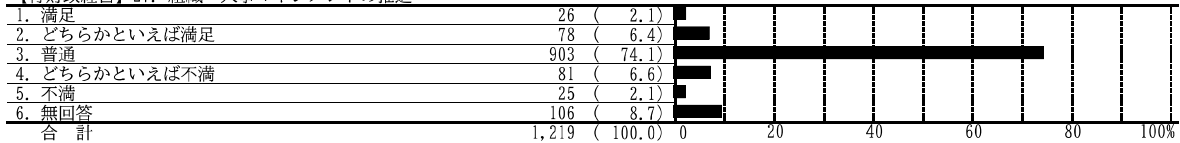
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



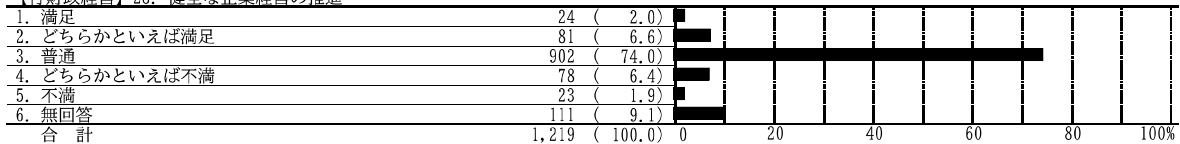
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



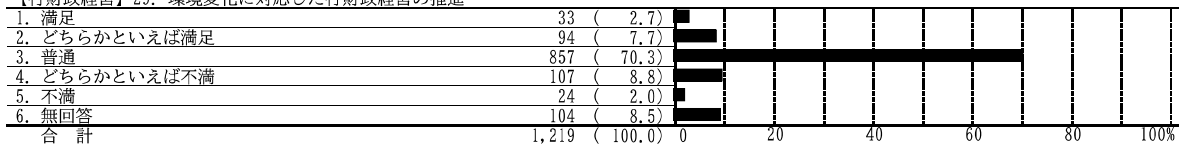
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進



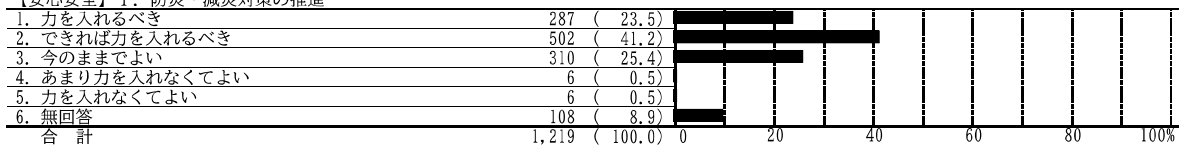
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



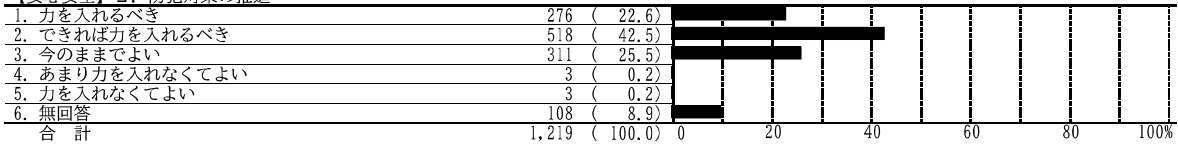
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



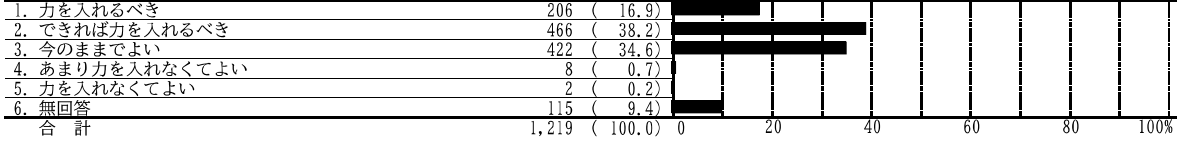
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



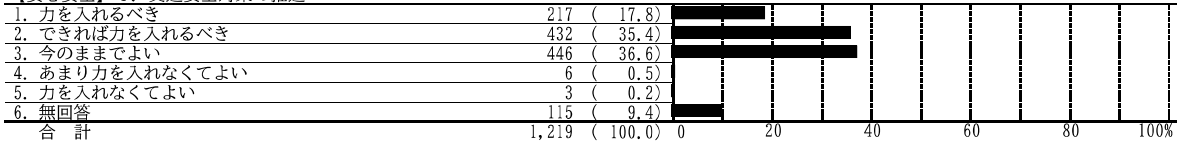
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



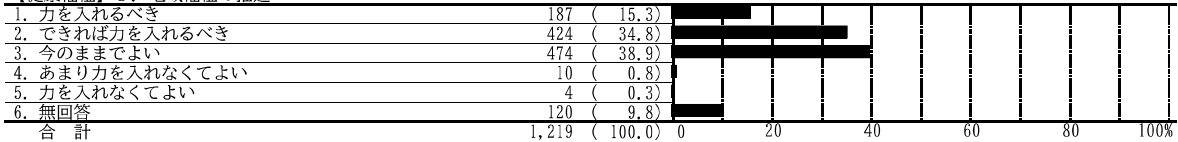
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



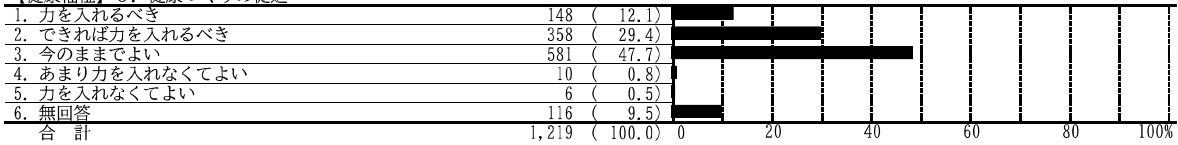
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】5. 地域福祉の推進



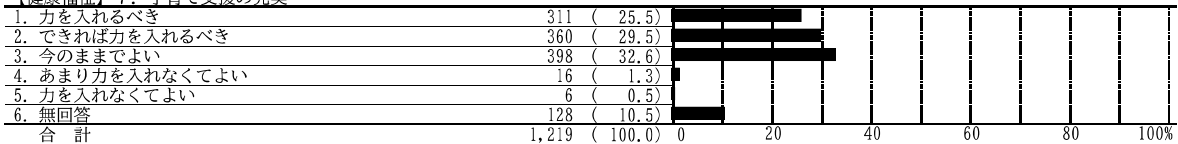
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進



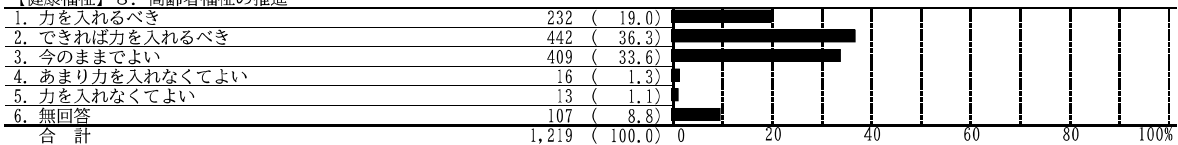
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



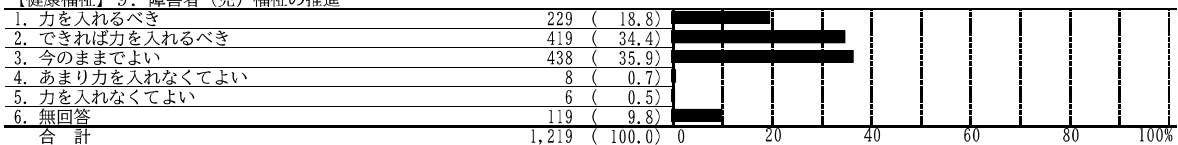
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



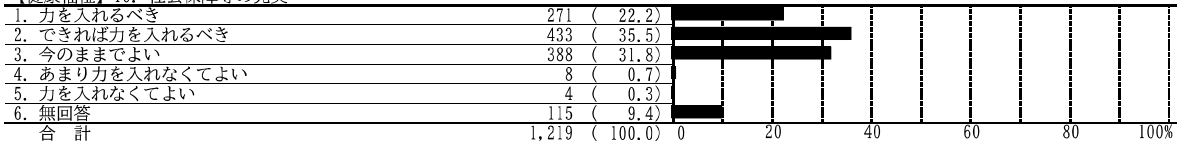
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】9. 障害者（児）福祉の推進



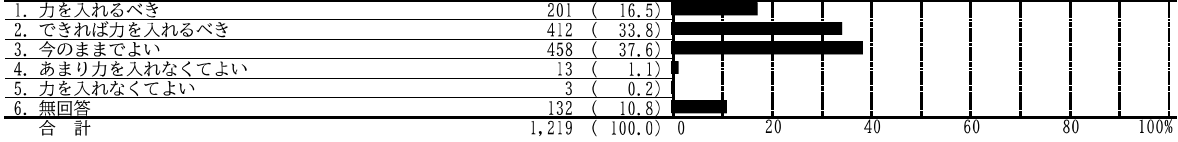
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】10. 社会保障等の充実



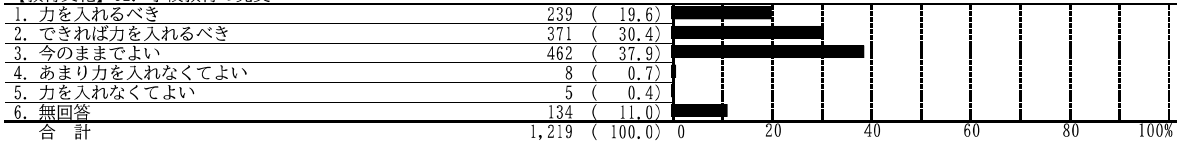
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



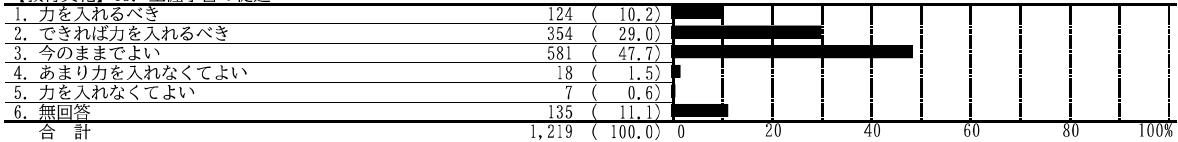
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



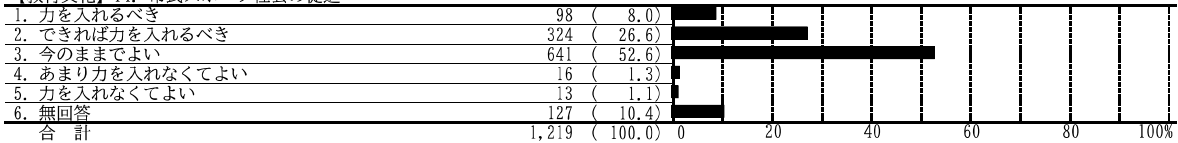
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



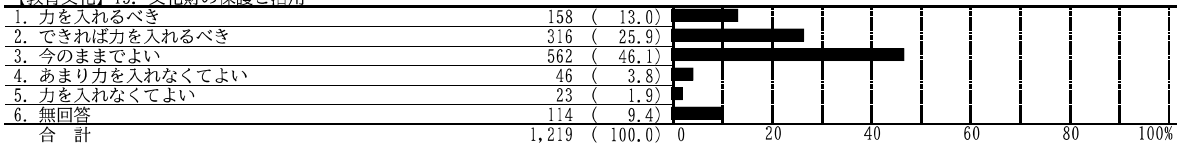
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



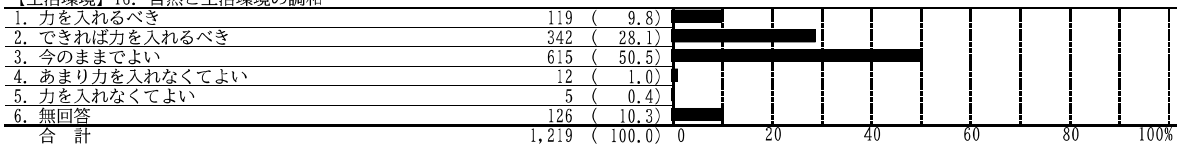
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



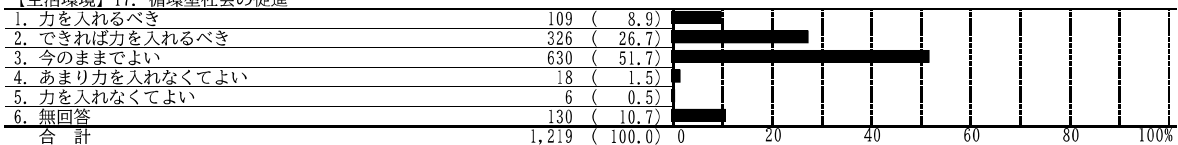
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



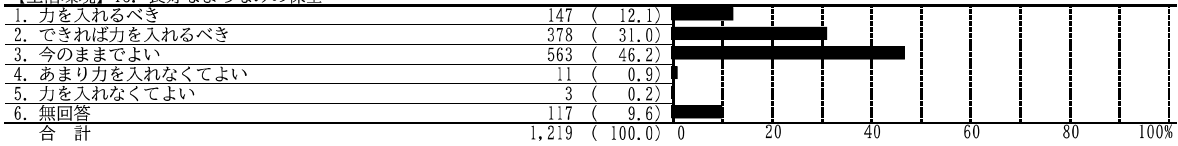
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



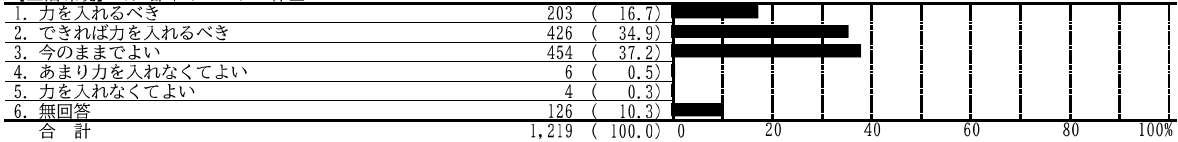
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



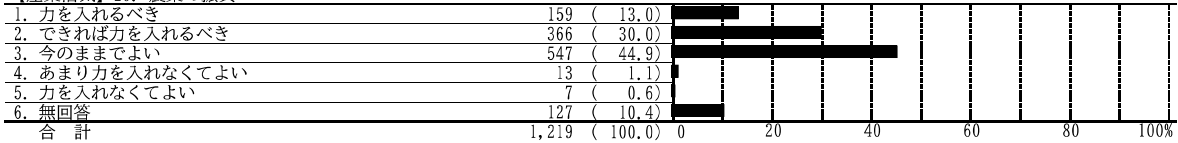
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



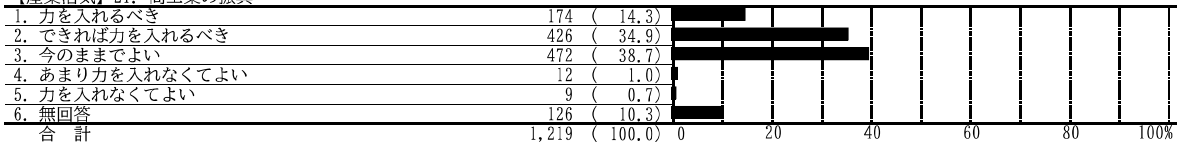
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】20. 農業の振興



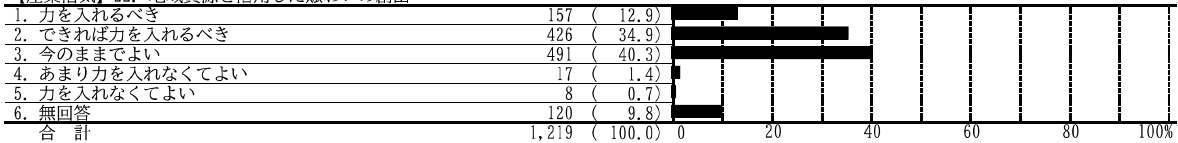
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】21. 商工業の振興



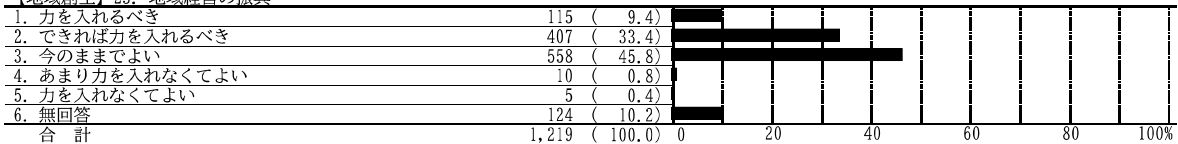
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した販賣の創出



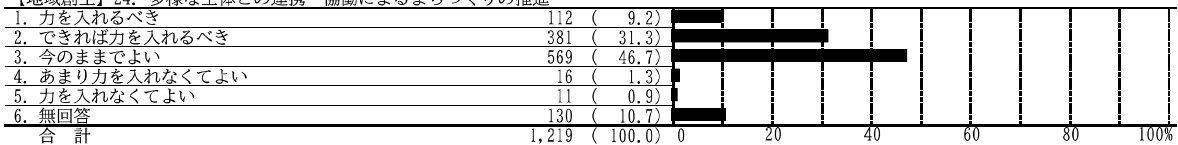
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



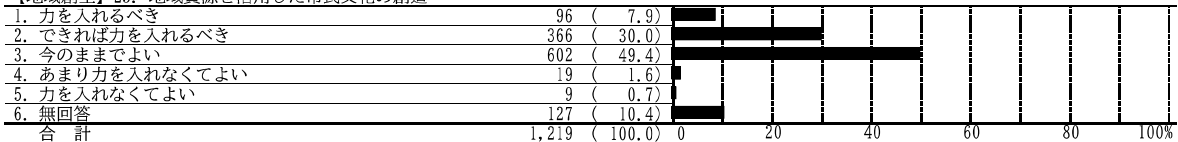
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



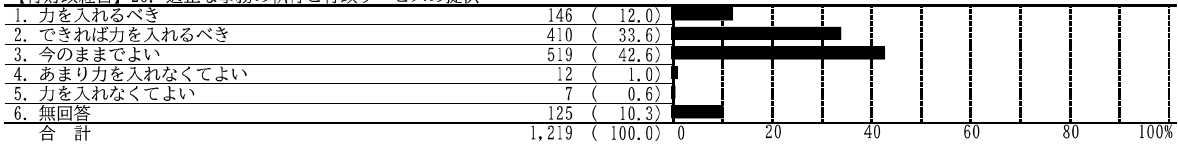
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



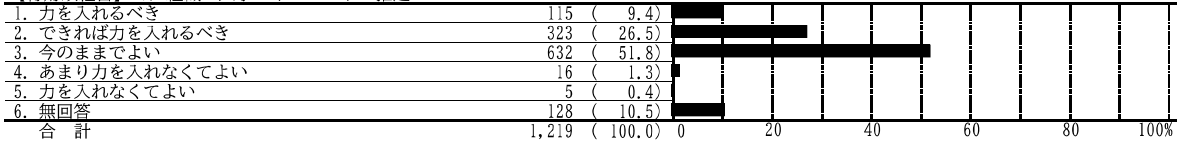
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



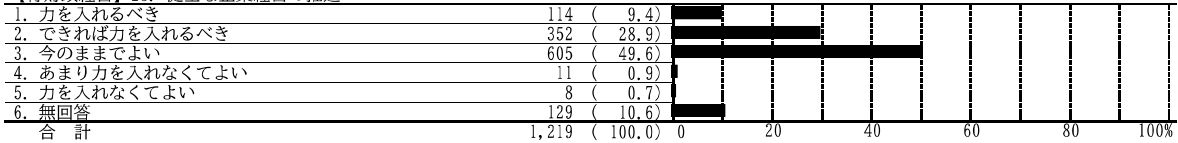
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



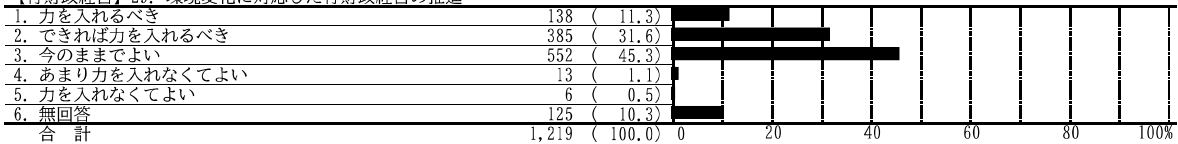
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進

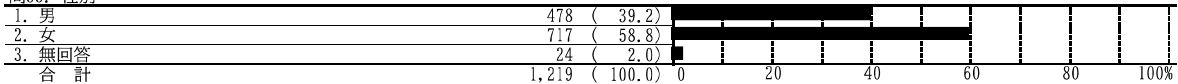


問54. まちづくりについて「今後の重要度」

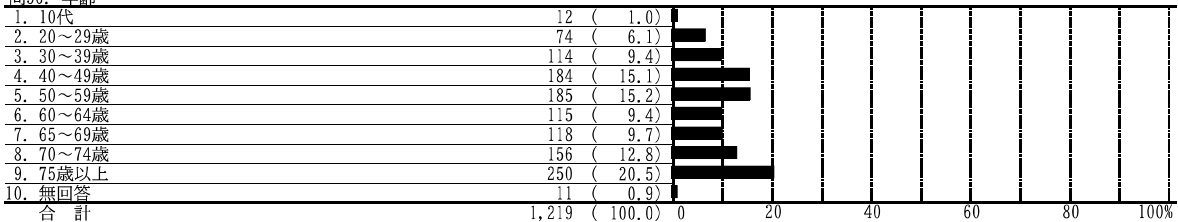
【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



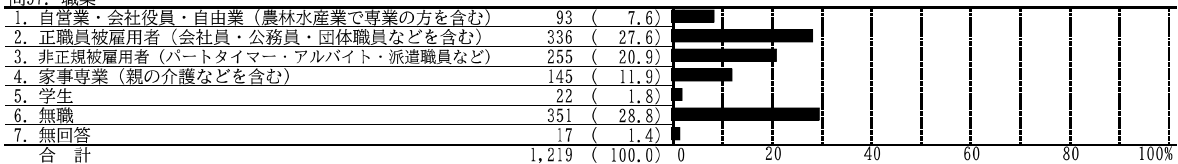
問55. 性別



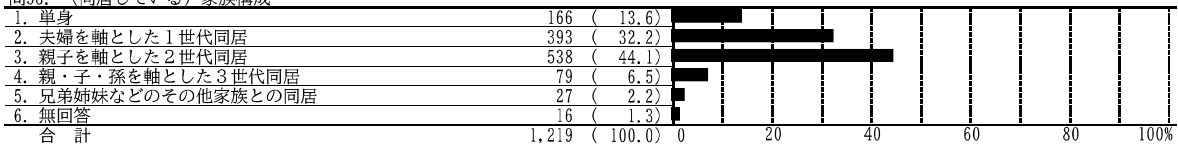
問56. 年齢



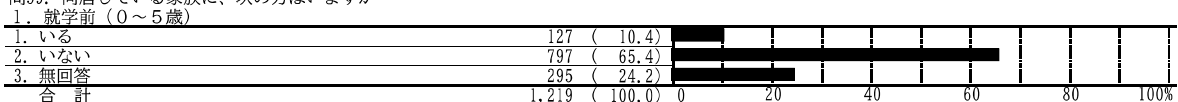
問57. 職業



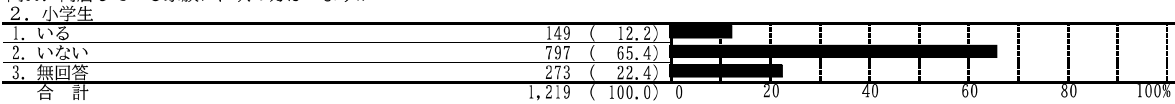
問58. （同居している）家族構成



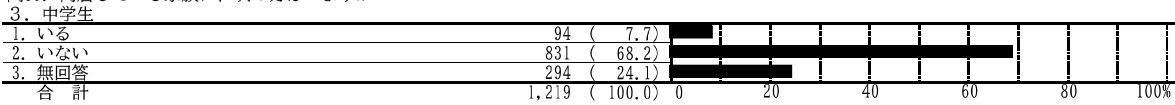
問59. 同居している家族に、次の方はいますか



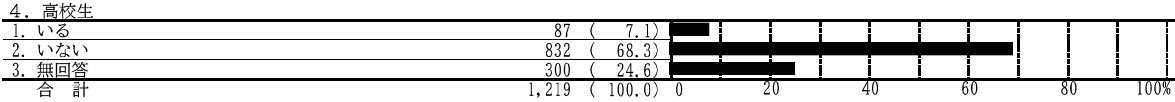
問59. 同居している家族に、次の方はいますか



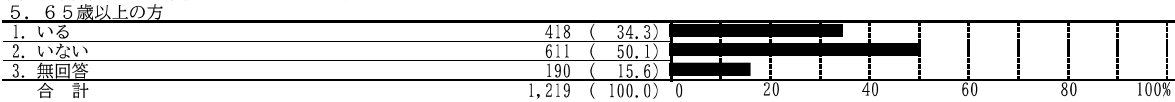
問59. 同居している家族に、次の方はいますか



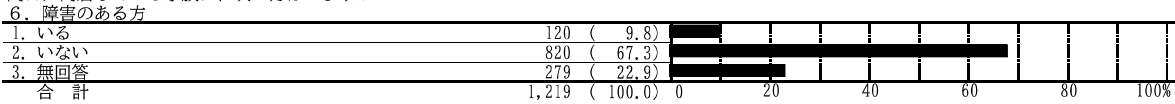
問59. 同居している家族に、次の方はいますか



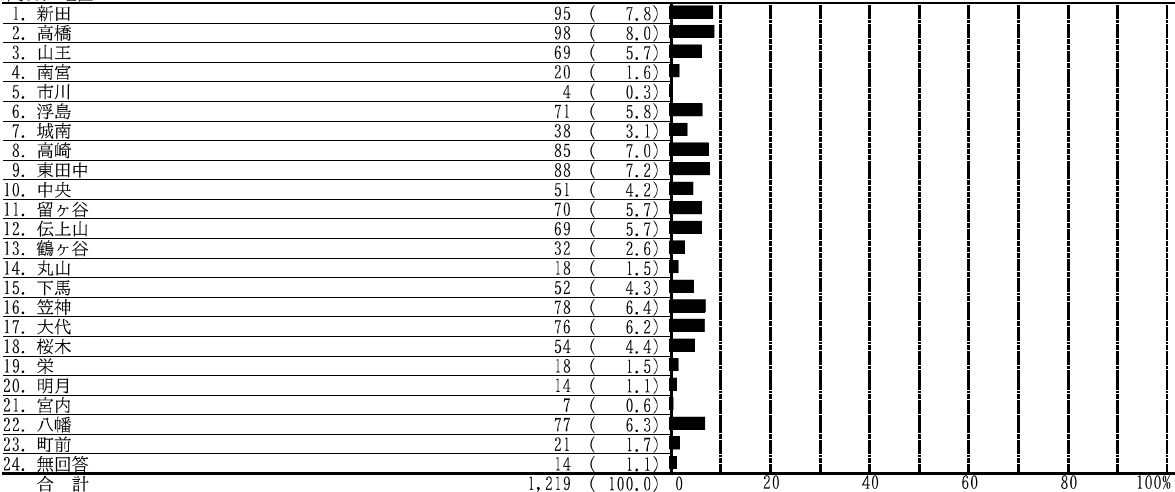
問59. 同居している家族に、次の方はいますか



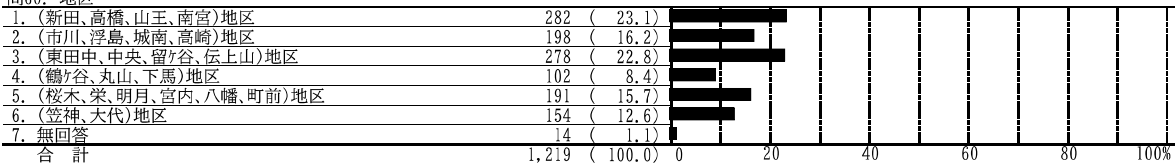
問59. 同居している家族に、次の方はいますか



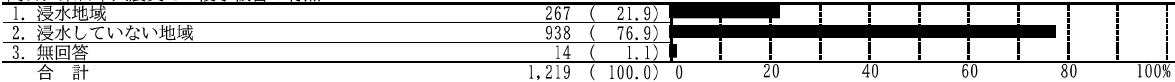
問60. 地区



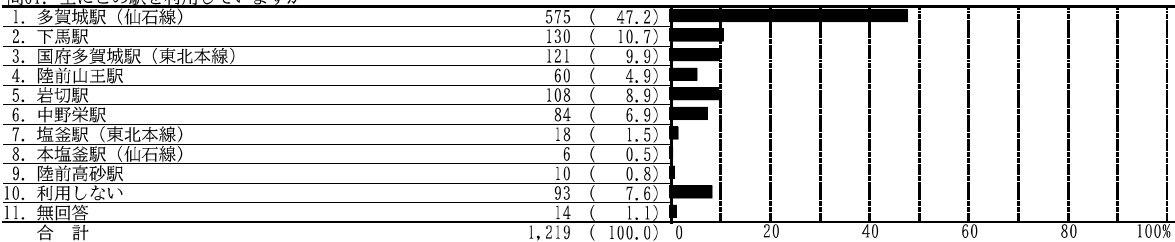
問60. 地区



問60. 東日本大震災での浸水被害の有無



問61. 主にどの駅を利用していますか



調査方法

